Pioneer

コンパクトミニコンポーネント

X-NT99MD
X-NT77MD
X-NT99R
X-NT77R
APX-N902
APX-N702

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意 付属の「安全上のご注意」もお読みください

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

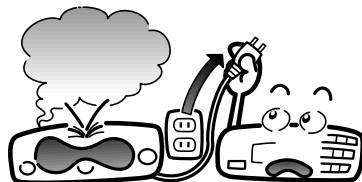
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

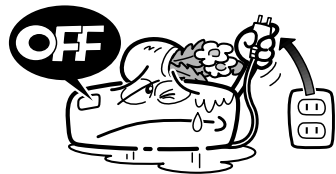
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

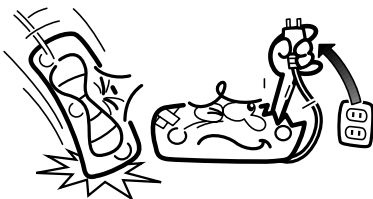
絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

〔異常時の処置〕

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

この取扱説明書は主にX-NT99MD、X-NT77MDについて説明しています。X-NT99R、X-NT77Rについては、まず本書の4～21ページの「準備」と22～29ページの「基本操作」をお読みください。付属のPDR-N902の基本操作については別冊の取扱説明書をご覧ください。また、A.S.E.Sとタイマーの使いかたなどは本書の61～72ページをお読みになった上で、お使いください。

この取扱説明書は、下記の機器を説明しています。

ステレオアンプ	A-N902
	A-N702
ステレオCDチューナー	PD-N902
スピーカーシステム	S-N702-LR
	S-N902-LR
ミニディスクレコーダー	MJ-N902
コンパクトディスクレコーダー	PDR-N902

(PDR-N902の操作については、別冊の取扱説明書をご覧ください)

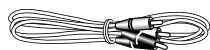
本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

説明中のマークについて

故障かな？ ── 操作中におかしいなと思ったときに読んでみてください。

これは便利 ── 本文で説明していない便利な情報です。

ポイント ── 知っておくと操作がスムーズになります。

特　長

ダイレクトエナジー MOS FET を採用！(A-N902、A-N702)

エネルギーロスが非常に少ないダイレクトエナジーMOS FETの採用により、広い帯域に渡ってミュージックソースを忠実に、より自然に再現します。

レガート・リンク・コンバージョンを搭載！(PD-N902、MJ-N902、PDR-N902、別売 T-N902)

CD、MDなどのフォーマットでは、カットされている20kHz以上の音楽成分を可聴帯域内の信号と1/f特性から推定して再現することで、楽器本来の豊かで自然な音色を実現します。

ARTIST-SYSTEM を搭載！(MJ-N902)

ARTIST(Advanced Real Time Signal Tuning)-SYSTEMは、リアルタイムに入力信号の周波数分析を行い、分割された各帯域に対してそれぞれに適したマスキング特性を選択し、より原音に忠実な高音質録音を実現しています。

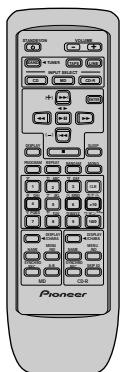
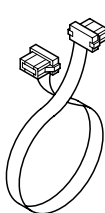
CD テキスト対応！(PD-N902、PDR-N902)

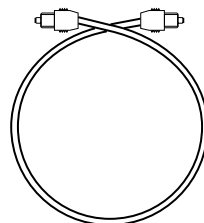
PDR-N902 ではCD-Rディスクや CD-RW ディスクに名前をつけることができます。ディスクネーム、アーティストネーム、トラックネームとつけられる名前の種類は３種類あります。PD-N902では入力されたCDテキストを表示することができます。

省エネルギー設計製品

本製品は待機時消費電力を 0.4W に抑えた設計となっております（システム接続時)。

付属品の確認 （下記の付属品がそろっていることを確認してください。）

リモコン× 1

ピンプラグ付接続コード

＊ X-NT99MD、X-NT77MD
X-NT99R、X-NT77R　× 4
APX-N902、APX-N702　× 2

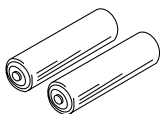
電源コード

＊ X-NT99MD、X-NT77MD
X-NT99R、X-NT77R　× 3
APX-N902、APX-N702　× 2

システム接続コード

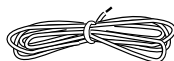
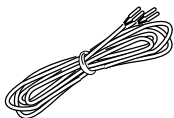
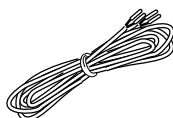
＊ X-NT99MD、X-NT77MD
X-NT99R、X-NT77R　× 2
APX-N902、APX-N702　× 1

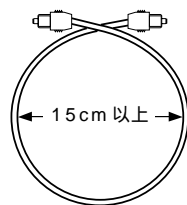
光ファイバーケーブル× 1

＊X-NT77MD、X-NT99MD
X-NT99R、X-NT77R
のみに付属

単 3 形乾電池× 2
（R6P）

AM ループアンテナ× 1
（図は組み立てた状態です。）

スピーカーコード
＊（スピーカーに付属）×2

FM 簡易アンテナ× 1

取扱説明書
ご相談窓口・修理窓口のご案内
保証書
安全上のご注意

光ファイバーケーブル取り扱い上の注意

光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が 15cm 以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。

設置のしかた

■熱を受けないように

- アンプなど、熱を発生する機器の上には、物をのせないでください。ラックにアンプや物を入れる場合は、アンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるように、物はアンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。
- ラックの中などへアンプを設置したときに、熱がこもってしまう場合があります。このようなときはアンプをラックの外へ出すなどして、熱がこもりにくい設置をしてください。また、CDやMD、CD-Rなど光学式ピックアップを使った機器は、温度に非常に敏感な部分がありますので、できるだけ熱を発生しやすい機器の上への設置を避けることをおすすめします。

■設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりの多い所
- 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■重いものをのせない

本機の上に重いもの（テレビやビデオデッキなど）をのせないでください。

■密閉したラックなどに収納すると、温度が上昇し、ディスクを傷めることがあります。

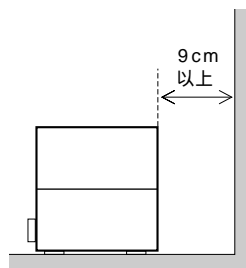
■録音／再生中は本機を絶対動かさない

録音／再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つけたり録音できなくなる恐れがあります。

■スピーカーシステムについて

スピーカー設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりスピーカーが故障する原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 ～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

- **機器の天面の放熱孔はふさがないように設置してください。放熱孔をふさぐと内部に熱がこもり、性能不良および故障の原因となります。**
  壁からは右図の距離だけ離してください。
- 毛足の長い敷物やじゅうたん、ベッド、ソファーなどの上に設置したり、布などをかけないでください。
  通風が妨げられて本機の内部が発熱し、故障や火災の原因になります。

光ファイバーケーブルが折れ曲らないようご注意ください。

接続のしかた

本機を使う前に次の手順で正しく接続してください。

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- アンテナは必ず接続してください。アンテナの接続のしかたは11～12ページをご覧ください。（アンテナを接続しないとラジオ放送が受信できません。）
- スピーカーコードの接続は11ページをご覧ください。
- 設置のしかたについては5ページをご覧ください。

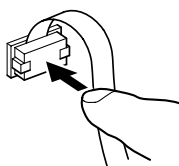
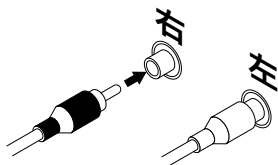
機器の組み合わせによって接続のしかたが異なります。
- アンプ、CDチューナーの組み合わせ（7ページ）
- アンプ、CDチューナー、MDレコーダーの組み合わせ（7ページ）
- アンプ、CDチューナー、カセットデッキの組み合わせ（8ページ ）
- アンプ、CDチューナー、MDレコーダー、カセットデッキの組み合わせ（8ページ）
- アンプ、CDチューナー、CD-Rの組み合わせ（8ページ）
- アンプ、CDチューナー、CD-R、MDレコーダーの組み合わせ（9ページ）
- アンプ、CDチューナー、CD-R、カセットデッキの組み合わせ（10ページ ）
- アンプ、CDチューナー、CD-R、MDレコーダー、カセットデッキの組み合わせ（10ページ）

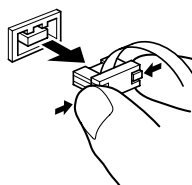
コードの接続について

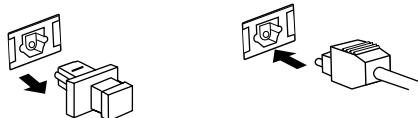
システム接続コードのつなぎかた

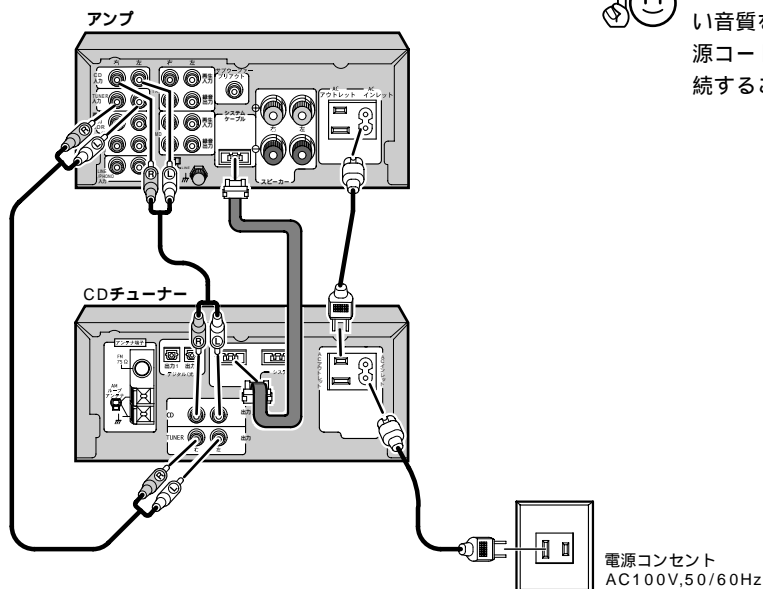
本機のシステム接続コードを接続する場合は、プラグの向きをコネクタ形状に合わせて差し込んでください。

〈差し込むとき〉

カチッと音がするまで確実に差し込んでください。

〈はずすとき〉

両側から押して引っぱってください。

ピンプラグ付接続コードのつなぎかた

白いプラグは（左）、赤いプラグは（右）側につなぎます。必ず奥まで差し込んでください。

システムを正しく動作させるために、システム接続コードとピンプラグ付接続コードは、上記にしたがって正しく接続してください。

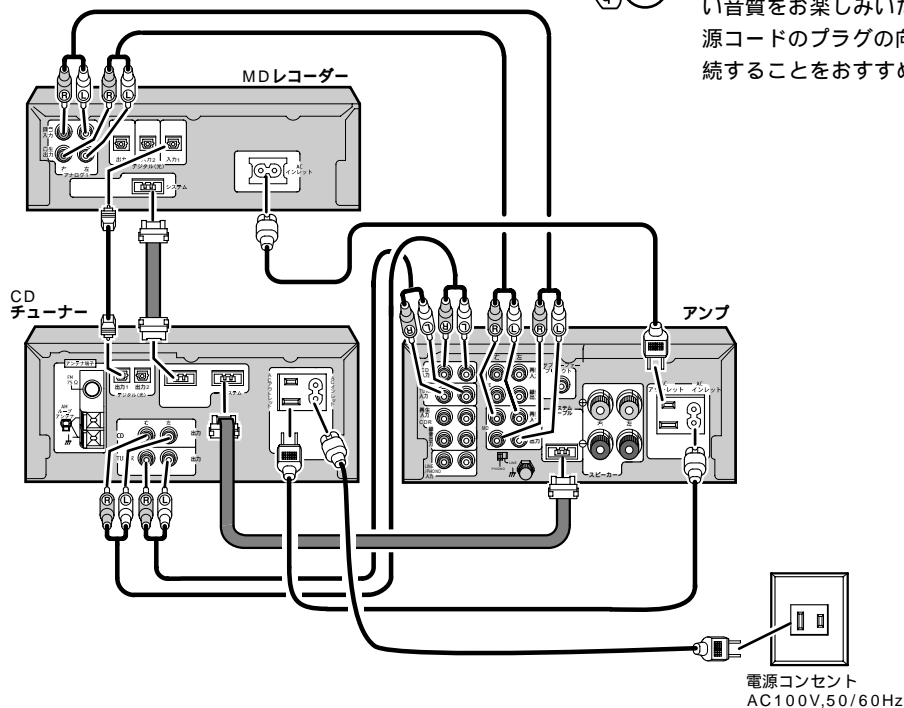
光ファイバーケーブルのつなぎかた

光デジタル端子の防塵キャップを引き抜きます。光ファイバーケーブルのプラグ端子の形に合わせ、カチッと音がする奥までしっかり差し込みます。また、光デジタル端子を使用しない場合は、必ず防塵キャップを取り付けてください。

アンプ、CDチューナーの組み合わせ

図はAPX-N902です。

電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。

アンプ、CDチューナー、MDレコーダーの組み合わせ

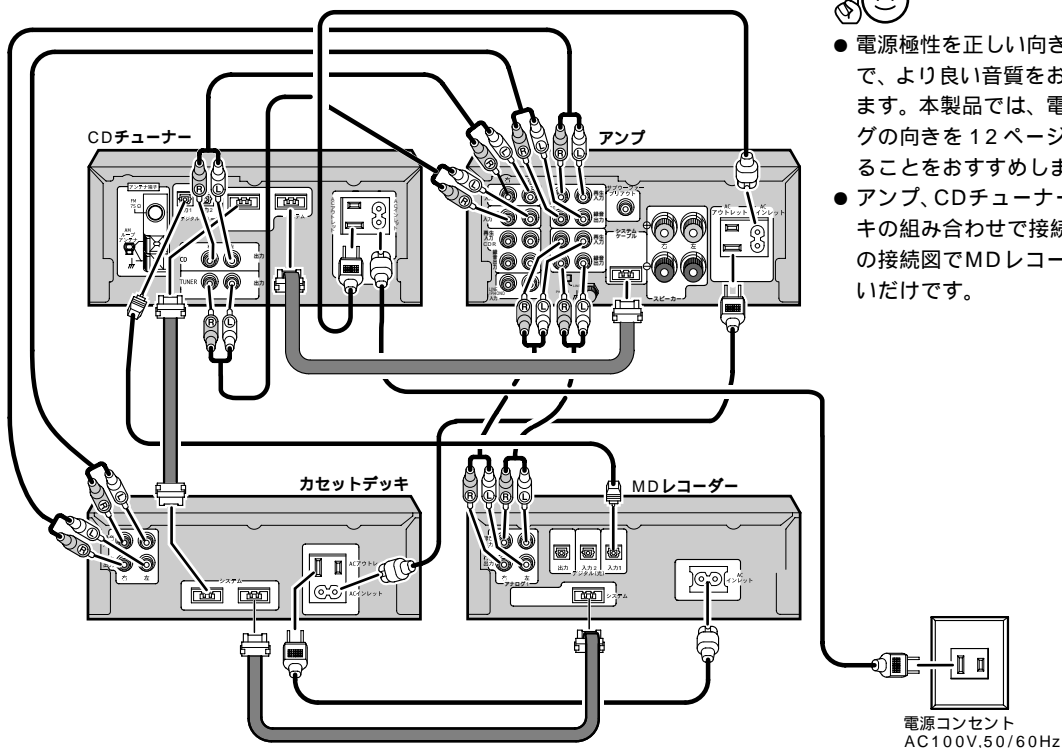
図はX-NT99MDです。

MDレコーダー

CD
チューナー

アンプ

電源コンセント
AC100V,50/60Hz

電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。

接続のしかた

アンプ、CDチューナー、MDレコーダー、カセットデッキ（別売）の組み合わせ

図は X-NT99MD ＋ T-N902（別売）です。

CDチューナー

アンプ

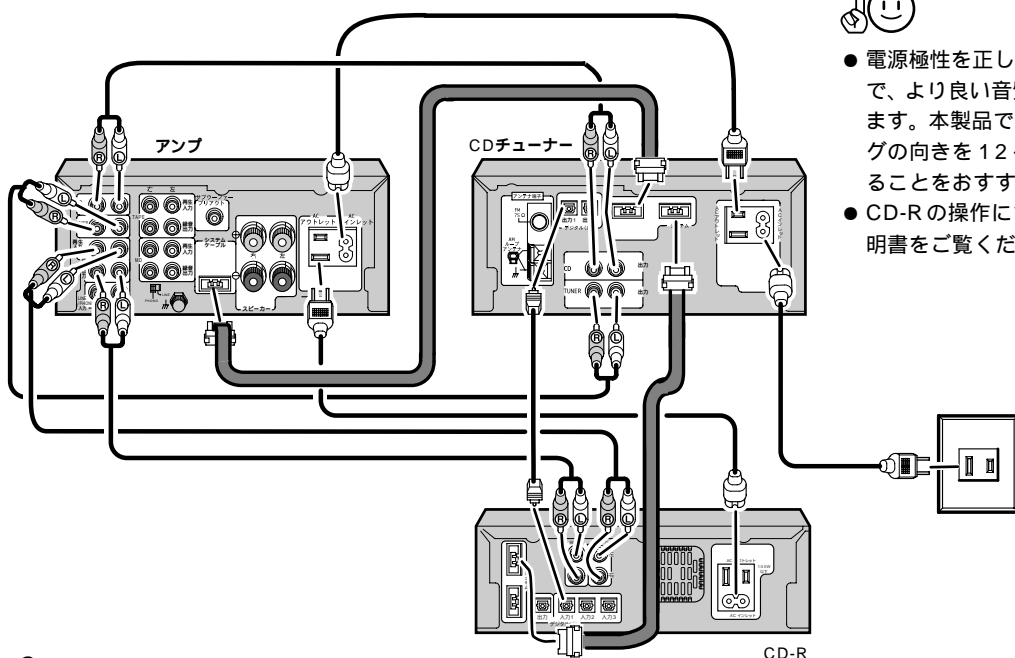
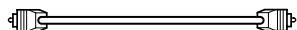
カセットデッキ

MDレコーダー

電源コンセント
AC100V,50/60Hz

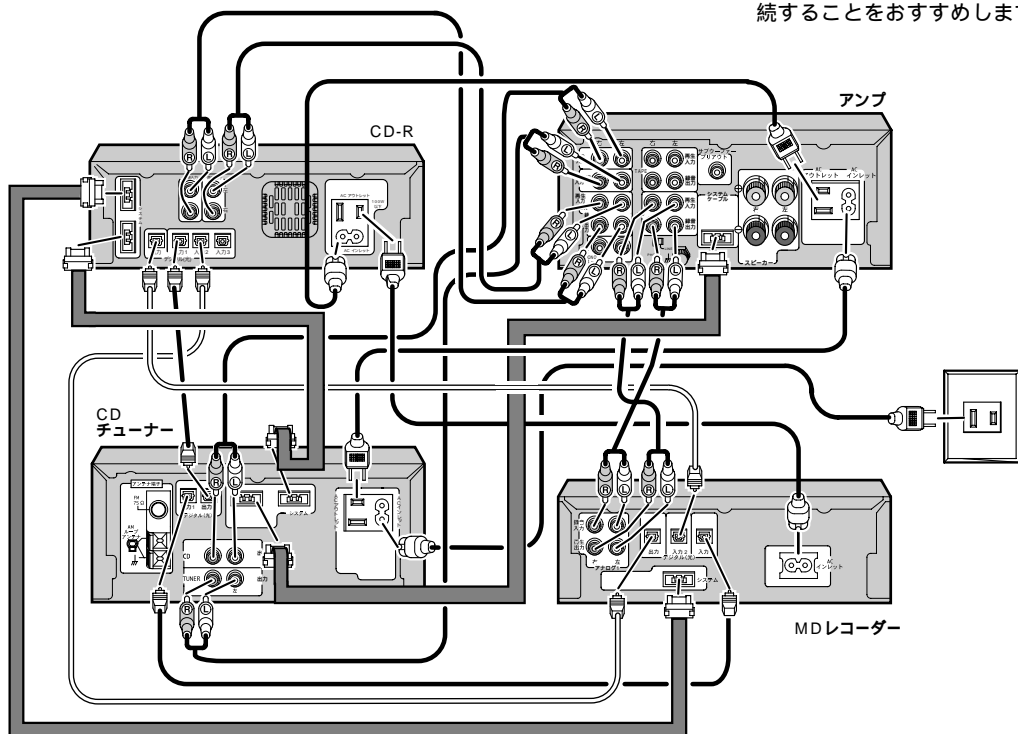
- 電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。
- アンプ、CDチューナー、カセットデッキの組み合わせで接続する場合は、左の接続図でMDレコーダーを接続しないだけです。

アンプ、CDチューナー、CD-Rの組み合わせ

図は X-NT99R です。

- 電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。
- CD-Rの操作については別冊の取扱説明書をご覧ください。

アンプ、CDチューナー、CD-R、MDレコーダーの組み合わせ

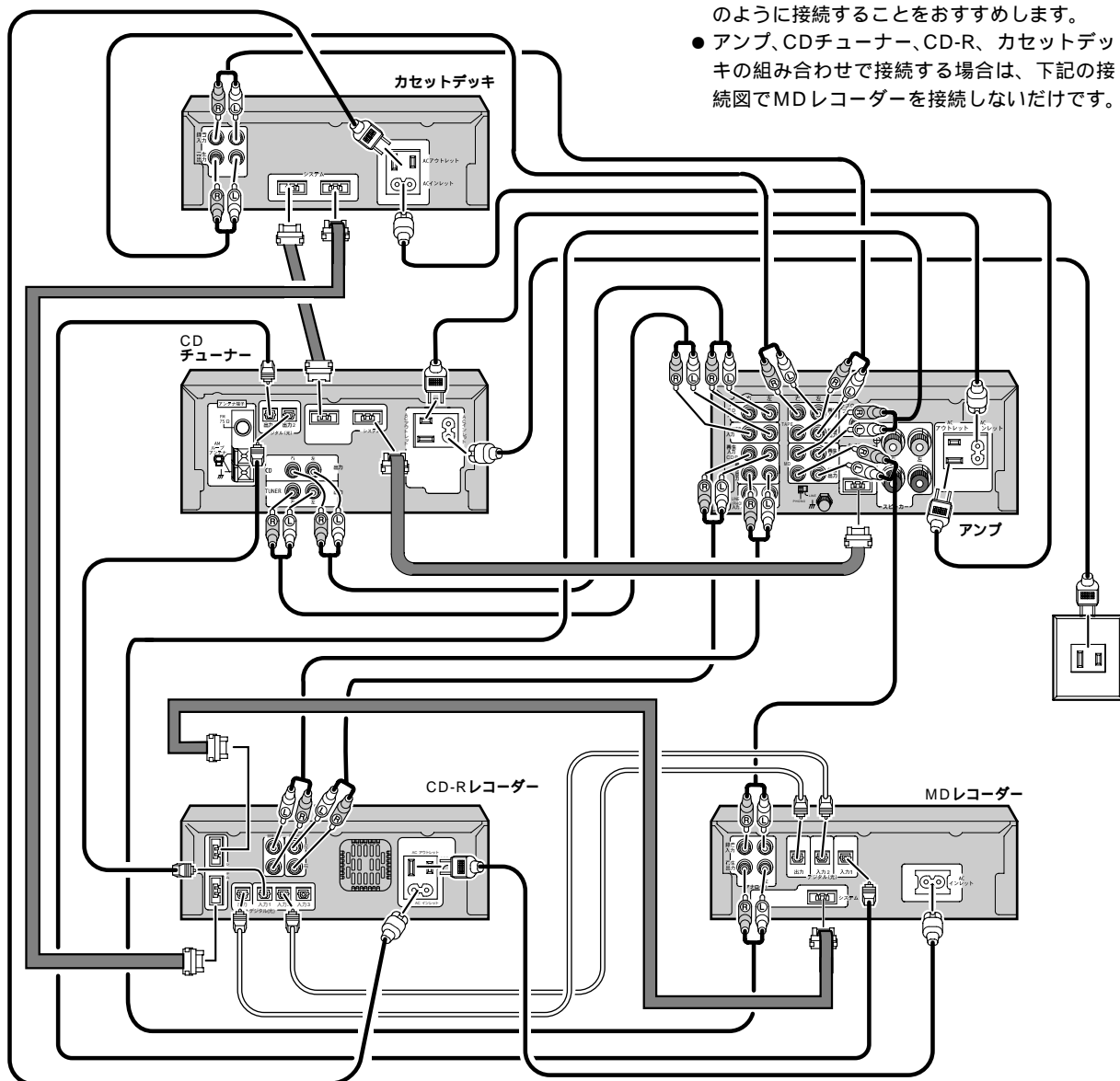
図は X-NT99MD ＋ PDR-N902（別売）、または
X-NT99R ＋ MJ-N902（別売）です。

電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。

 について

上図の白いラインの光ファイバーケーブルは、別売の光ファイバーケーブルを表しています。この接続を行うと、MDをCD-Rに、CD-RをMDにデジタル録音することができます（ただし、SCMSで認められる範囲のみデジタル録音が可能です。詳しくは 34 ページをご覧ください）。
この接続を行わずに、MDをCD-Rに、CD-RをMDに録音すると、アナログ録音のみとなり、デジタル録音は使用できません。

アンプ、CDチューナー、CD-R、MDレコーダー、カセットデッキの組み合わせ

図はX-NT99MD＋PDR-N902（別売）、T-N902（別売）またはX-NT99R＋MJ-N902（別売）、T-N902（別売）です。

- 電源極性を正しい向きに接続することで、より良い音質をお楽しみいただけます。本製品では、電源コードのプラグの向きを12ページのように接続することをおすすめします。
- アンプ、CDチューナー、CD-R、カセットデッキの組み合わせで接続する場合は、下記の接続図でMDレコーダーを接続しないだけです。

カセットデッキ

CD チューナー

アンプ

CD-Rレコーダー

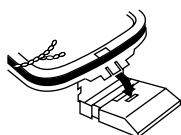
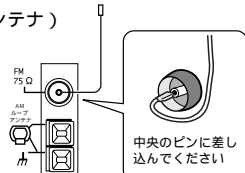
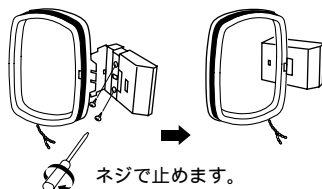
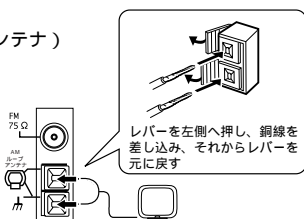
MDレコーダー

 について

上図の白いラインの光ファイバーケーブルは、別売の光ファイバーケーブルを表しています。この接続を行うと、MDをCD-Rに、CD-RをMDにデジタル録音することができます（ただし、SCMSで認められる範囲のみデジタル録音が可能です。詳しくは34ページをご覧ください）。

この接続を行わずに、MDをCD-Rに、CD-RをMDに録音すると、アナログ録音のみとなり、デジタル録音は使用できません。

アンテナの接続について

コードのカバーを回しながら引き抜きます

（FM アンテナ）

（AM アンテナ）

組立てかた

スピーカーコードの接続について

スピーカーコードをつなぐ

①
②
③
④

コードと端子のプラスとマイナスを合わせて接続してください。
（コードの被覆に白いラインが入っているほうが⊕、文字が入っていないほうが⊖になります。）

きちんと接続されているかどうかコードを軽く引っぱって確かめましょう。

スピーカーのグリルの着脱のしかた

このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルの下側をはずします。
2. 同じように、グリルの上側を手前に引っぱるとグリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルの４隅にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

幼児にいたずらされないよう、グリルははずしたままにしないでください。

接続に関するご注意

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

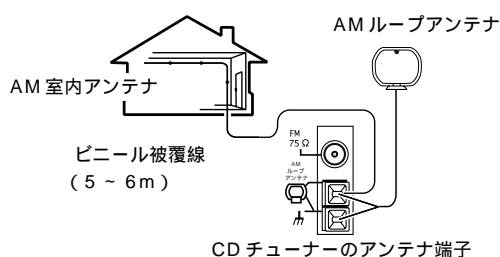
AMループアンテナ：

- 平らな面に置き､受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは､本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は､AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

- AM 外部アンテナ、市販の FM 屋外アンテナを接続します。

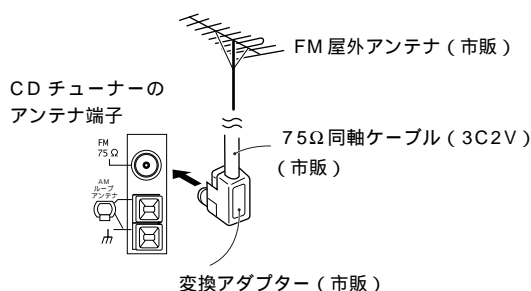
AM 外部アンテナの接続

下図のように接続してください。

AM外部アンテナを接続してもAM ループアンテナは外さないでください。

FM簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

FM 屋外アンテナの接続

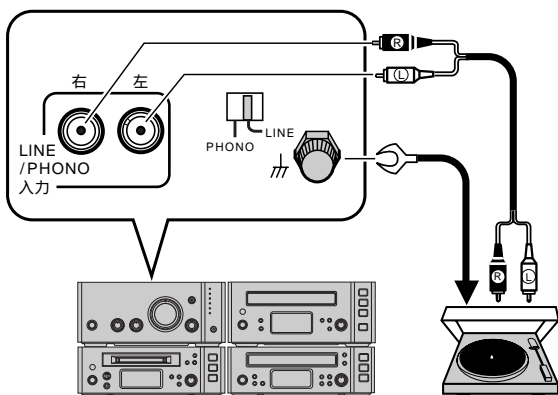
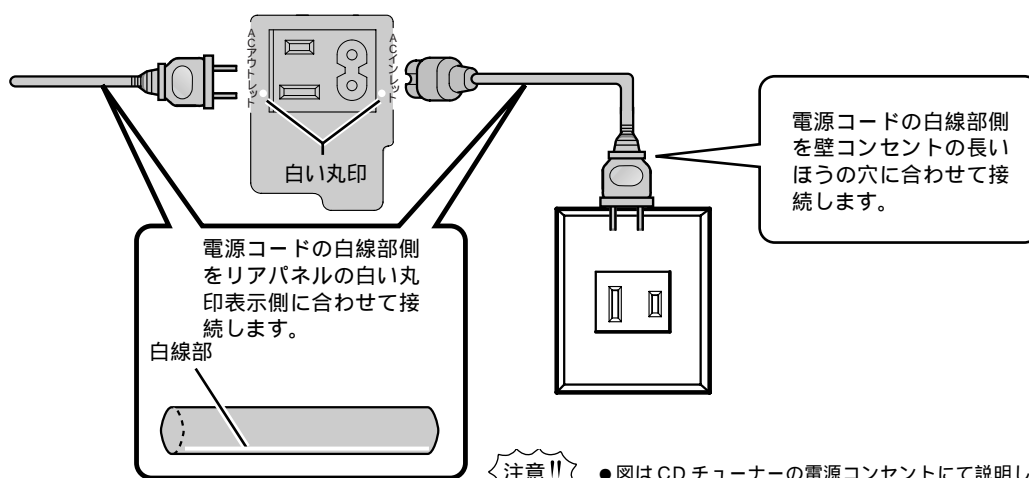
- 市販の FM 屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

スピーカーの接続について

- スピーカーを本システム以外のアンプに接続しないでください。故障とか、ごくまれに発煙、発火の可能性があります。

電源コードの接続について

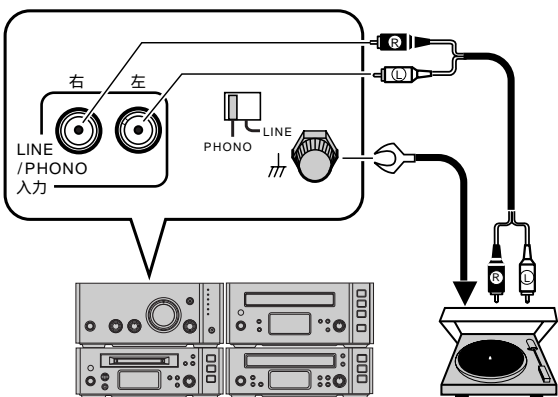
- CDチューナーの電源プラグは必ず壁のコンセントへ差し込んでください。

電源極性について

よりよい音質でご使用いただくために、電源コードのプラグの向きを下記のように接続することをおすすめします。

注意!!

- 図は CD チューナーの電源コンセントにて説明しています。
- 電源コードの拡大図は、説明上色を変えてあります。付属している電源コードは黒色です。

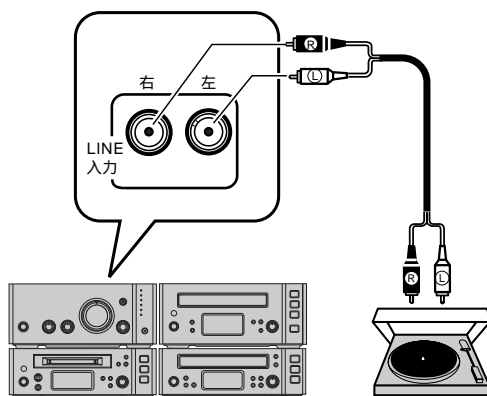
レコードプレーヤーを接続するとき

X-NT99MD 、X-NT99R、APX-N902 にフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーを接続する

LINE/PHONO 入力端子に接続してください。この場合には、リアパネルの切換スイッチをLINE側にセットしてください。

X-NT99MD ＋ T-N902

フォノイコライザー内蔵
レコードプレーヤー

X-NT99MD 、X-NT99R、APX-N902 にフォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーを接続する

LINE/PHONO 入力端子に接続し、リアパネルの切換スイッチを PHONO 側にセットしてください。

X-NT99MD ＋ T-N902

フォノイコライザーが
内蔵されていない
レコードプレーヤー

注意!! 本機のアース端子は、レコードプレーヤー等を接続した場合の雑音を低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

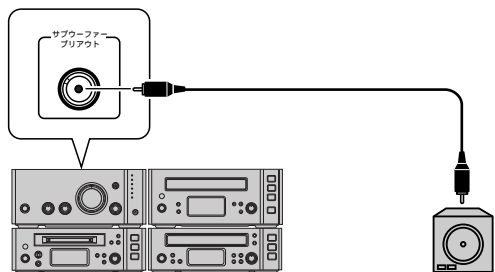
X-NT77MD、X-NT77R、APX-N702 にレコードプレーヤーを接続する

フォノイコライザー内蔵のものを LINE 入力端子に接続してください。（フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは接続できません。）

X-NT77MD ＋ T-N902

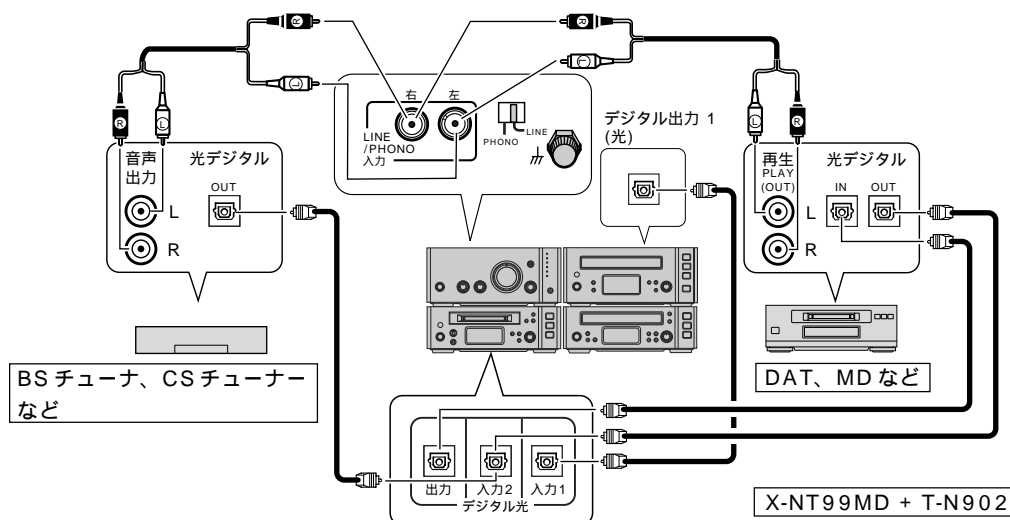
フォノイコライザー内蔵
レコードプレーヤー

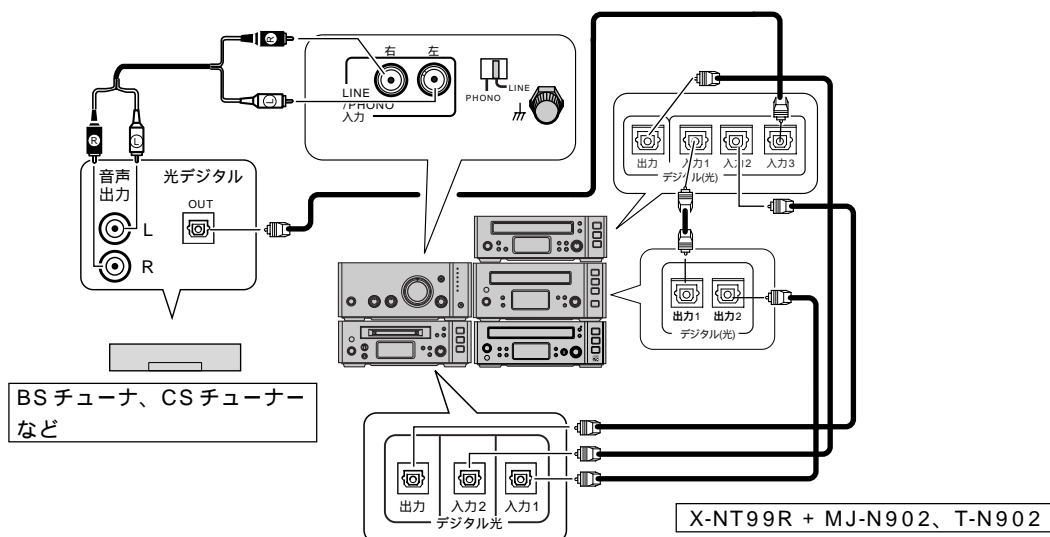
スーパーウーファーを接続するとき (X-NT99MD、X-NT99R、APX-N902)

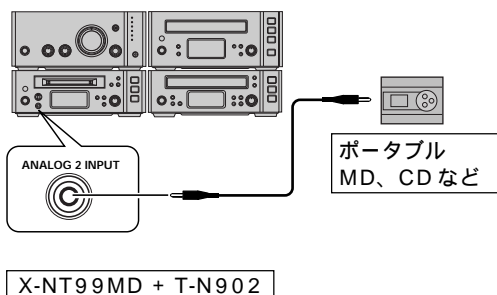
- スーパーウーファーなどを接続する場合は、オーディオ用ピンコードを使用して、サブウーファープリアウト端子に接続してください。
- スーパーウーファーに内蔵アンプがない場合には、専用アンプを接続し、スピーカーを接続してください。
- サブウーファープリアウト端子には、左と右の信号が混合されたモノラル信号が出力されます。

X-NT99MD ＋ T-N902

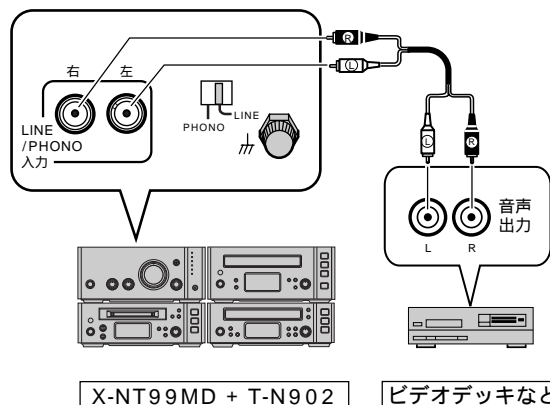
アンプ内蔵
サブウーファー

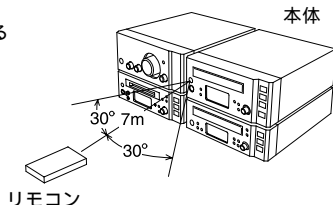
DATやMJ－N902以外のMDレコーダー、またはBSチューナーやCSチューナーなどを接続するとき (X-NT77MD、X-NT99MDの場合)

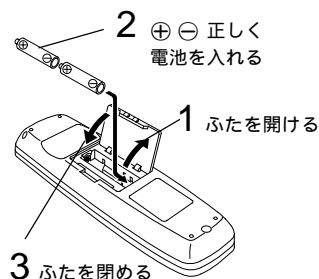
- 外部機器の光デジタル出力から、MDレコーダーの光デジタル入力の入力2へ接続する場合は、外部機器のアナログ出力も本機LINE/PHONO入力端子(X-NT77MDの場合はLINE端子)に接続してください。デジタル接続だけでは音はでません。LINE/PHONO入力端子に接続した場合は、リアパネルの切換スイッチをLINE側にセットしてください。(ただし、入力切換をMDに合わせ、REC PAUSE(P.38)、または"REC(P.39)で動作させると、デジタル接続だけで音が出ます。)
- MDの光デジタル入力の入力2へはCDチューナー（PD-N902)の光デジタル出力は接続しないでください。デジタル録音、自動編集録音(A.S.E.S.)ができなくなります。

DATやMJ－N902以外のMDレコーダー、またはBSチューナーやCSチューナーなどを接続するとき (X-NT77R、X-NT99Rの場合)

- 外部機器の光デジタル出力から、CD-Rレコーダーの光デジタル入力3へ接続する場合は、外部機器のアナログ出力も本機LINE/PHONO入力端子(X-NT77Rの場合はLINE端子)に接続してください。デジタル接続だけでは音はでません。LINE/PHONO入力端子に接続した場合は、リアパネルの切換スイッチをLINE側にセットしてください。この場合はCD-RとMDの同時録音が可能です。(ただし、入力切換をCD-RまたはMDに合わせ、REC PAUSE(P.38)、または"REC(P.39)で動作させると、デジタル接続だけで音が出ます。この場合、同時録音はできません。)

ポータブル MD、ポータブル CD などを接続するとき

- ポータブルMDやポータブルCDなどのアナログ出力と接続して、録音をすることができます。
- 接続する場合は、ステレオミニケーブルを使用して、MD レコーダー前面のアナログ２インプットジャック(ANALOG2 INPUT)に接続してください。

ビデオデッキなどを接続するとき

- ビデオデッキなどを接続する場合は、オーディオ用ピンコードを使用して、LINE/PHONO入力端子(X-NT77MD または X-NT77R の場合は LINE 端子)に接続してください。この場合は、リアパネルの切換スイッチを LINE 側にセットしてください。

- LINE/PHONO 入力にレコードプレーヤーをつなぐ時以外は、絶対にリアパネルの切換スイッチを PHONO 側にしないでください。フォノイコライザアンプはレコードプレーヤー用の入力レベルに設定されていますので、それ以外の高出力レベルのビデオデッキ等をつないだときや、何もつながれていないときなど、スピーカー破損等の原因になることがあります。

リモコンに電池を入れる

電池は単 3 形（R6P）を入れてください。

〈電池の入れ方〉

〈リモコン操作範囲〉

- リモコン前部をCDチューナーのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯を離してください。

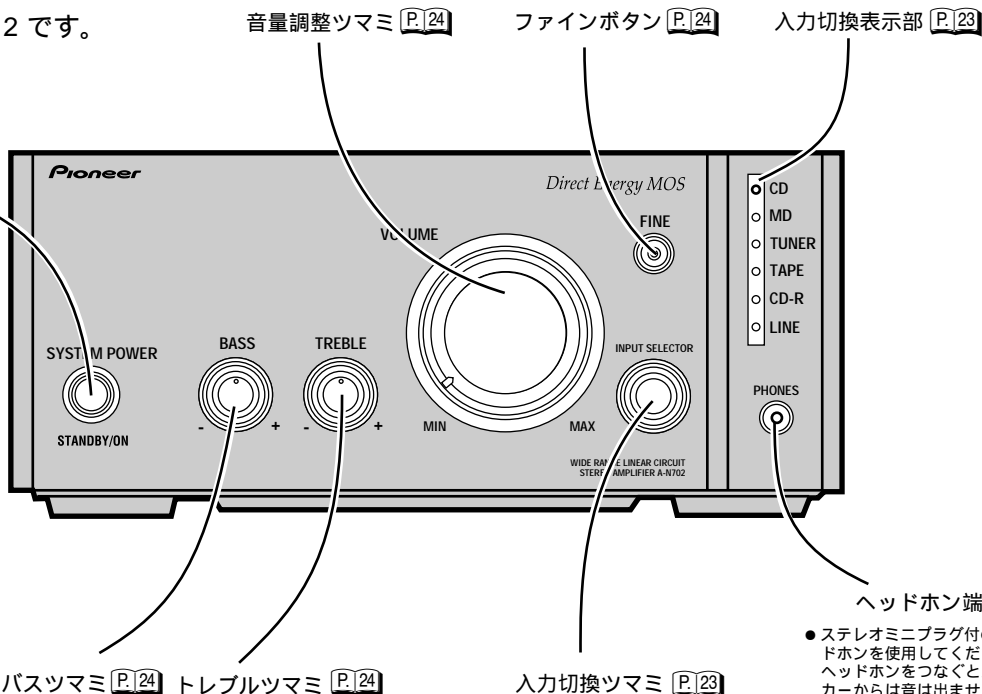
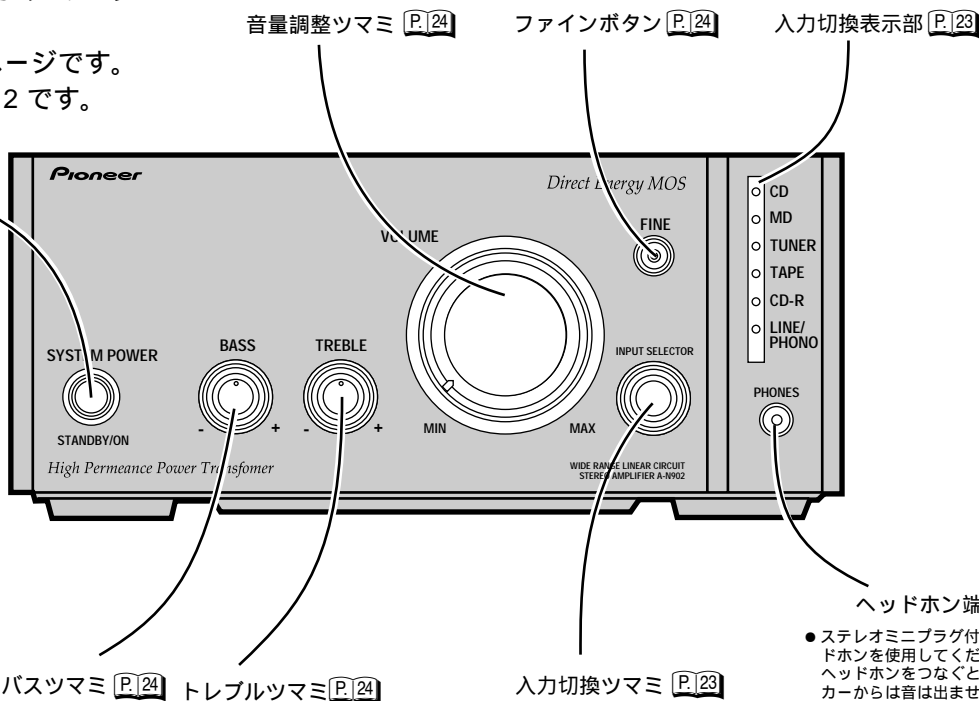
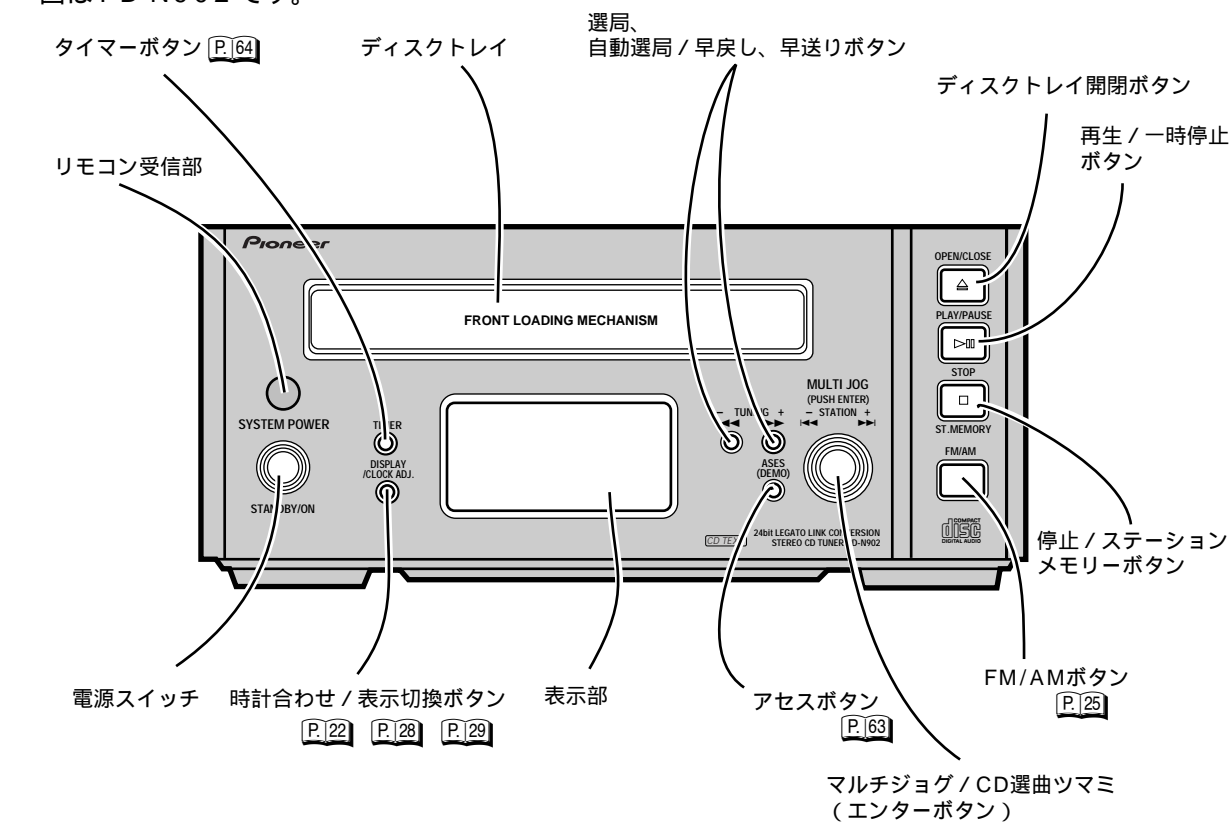
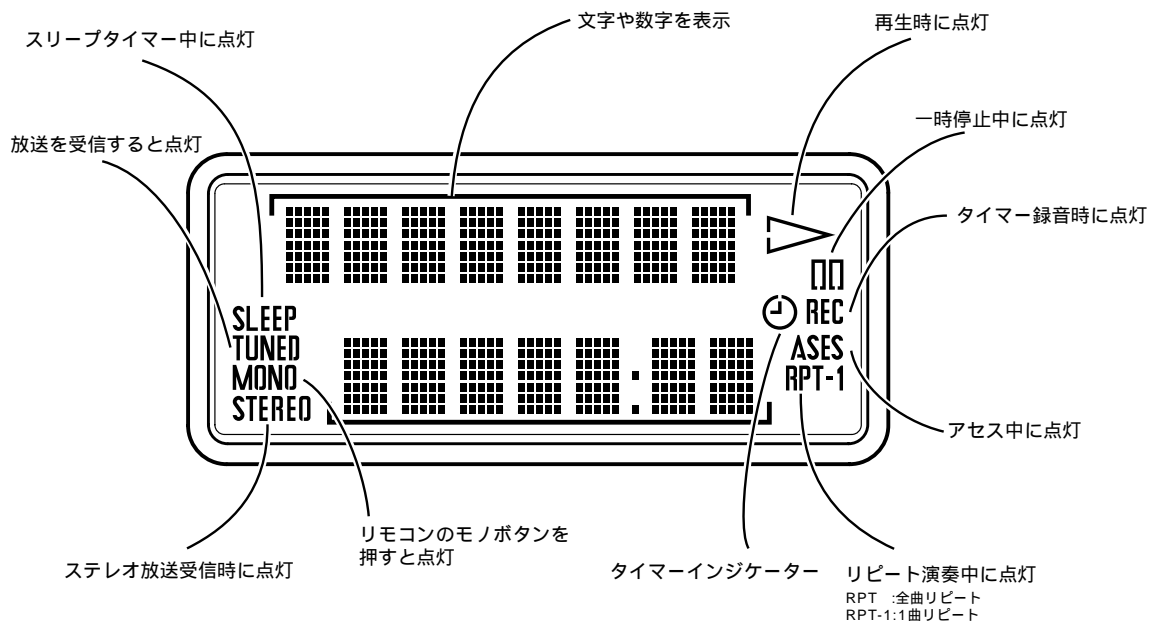
⚠注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

各部のなまえ

CD-R（PDR-N902）については別冊の取扱説明書をご覧ください。

ステレオアンプ

P. は参照ページです。
＊図は A-N902 です。

＊図は A-N702 です。

ステレオ CD チューナー

＊図は PD-N902 です。

タイマーボタン P.64

ディスクトレイ

選局、
自動選局／早戻し、早送りボタン

ディスクトレイ開閉ボタン

再生／一時停止
ボタン

リモコン受信部

Pioneer

FRONT LOADING MECHANISM

SYSTEM POWER

STANDBY/ON

TIMER

DISPLAY
/CLOCK ADJ.

MULTI JOG
(PUSH ENTER)
– STATION +

– TUNING +

ASES
(DEMO)

OPEN/CLOSE

PLAY/PAUSE

STOP

ST.MEMORY

FM/AM

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

CD TEXT

24bit LEGATO LINK CONVERSION
STEREO CD TUNER PD-N902

停止／ステーション
メモリーボタン

FM/AMボタン
P.25

電源スイッチ

時計合わせ／表示切換ボタン
P.22 P.28 P.29

表示部

アセスボタン
P.63

マルチジョグ／CD選曲ツマミ
（エンターボタン）

（表示部）

ミニディスクレコーダー (X-NT99R、X-NT77R、APX-N902、APX-N702 は別売)

＊図は MJ－ N902 です。

録音レベルツマミ P.39

メニュー／取消ボタン

録音ボタン

早戻し、早送りボタン

MD挿入部

リモコン受信部

ディスク取出しボタン

再生／一時停止
ボタン

停止ボタン

Pioneer

DISC LOADING MECHANISM

REC ●

EJECT

PLAY/PAUSE

STOP

MULTI JOG
(PUSH ENTER)

STANDBY/ON

REC LEVEL

MIN MAX

ANALOG2 INPUT

NAME MENU/NO

DISP/CHARA

LEGATO LINK CONVERSION
MINIDISC RECORDER MJ-N902

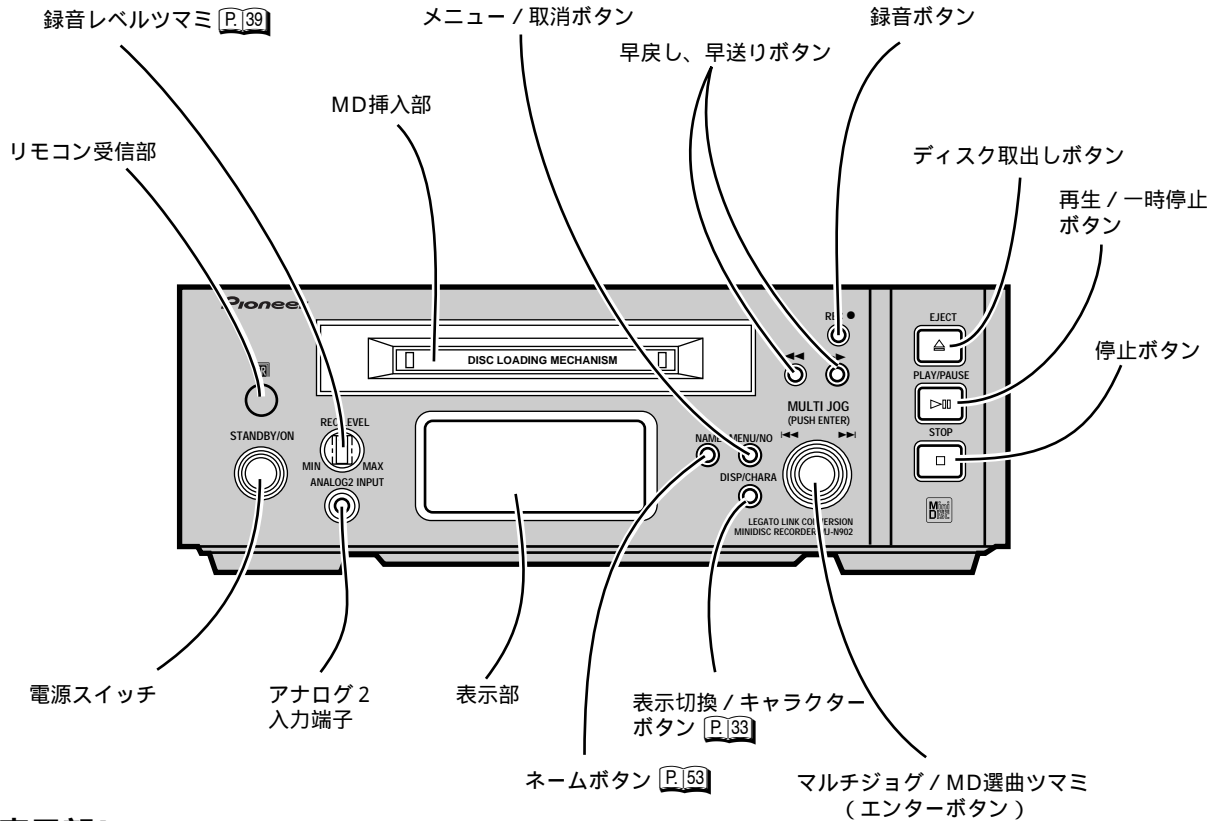
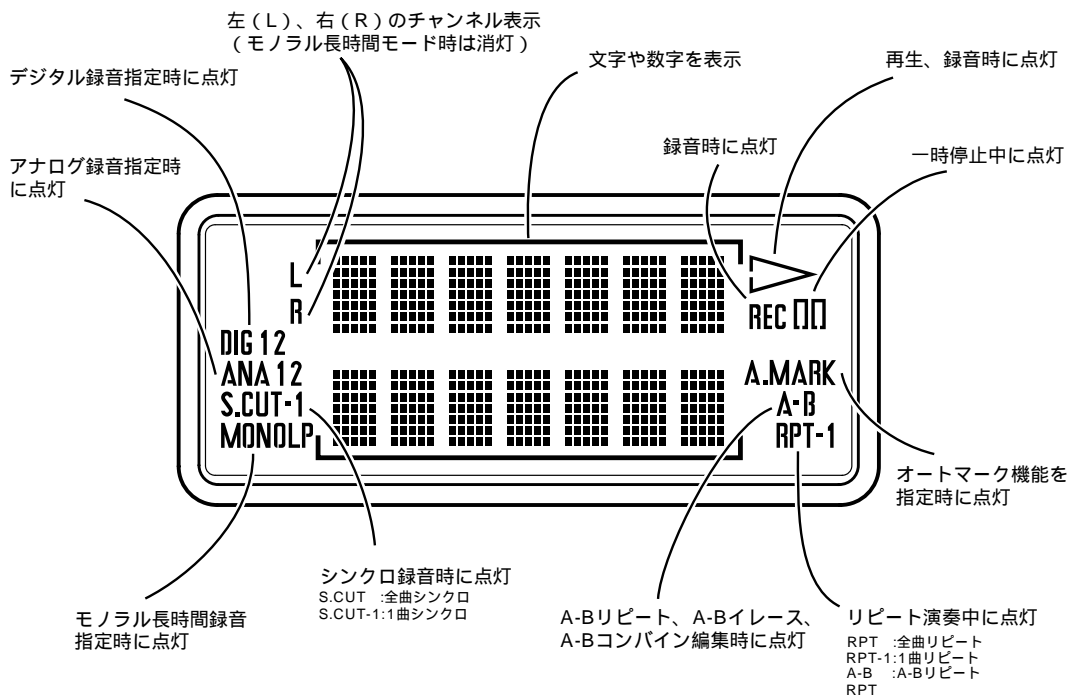
電源スイッチ

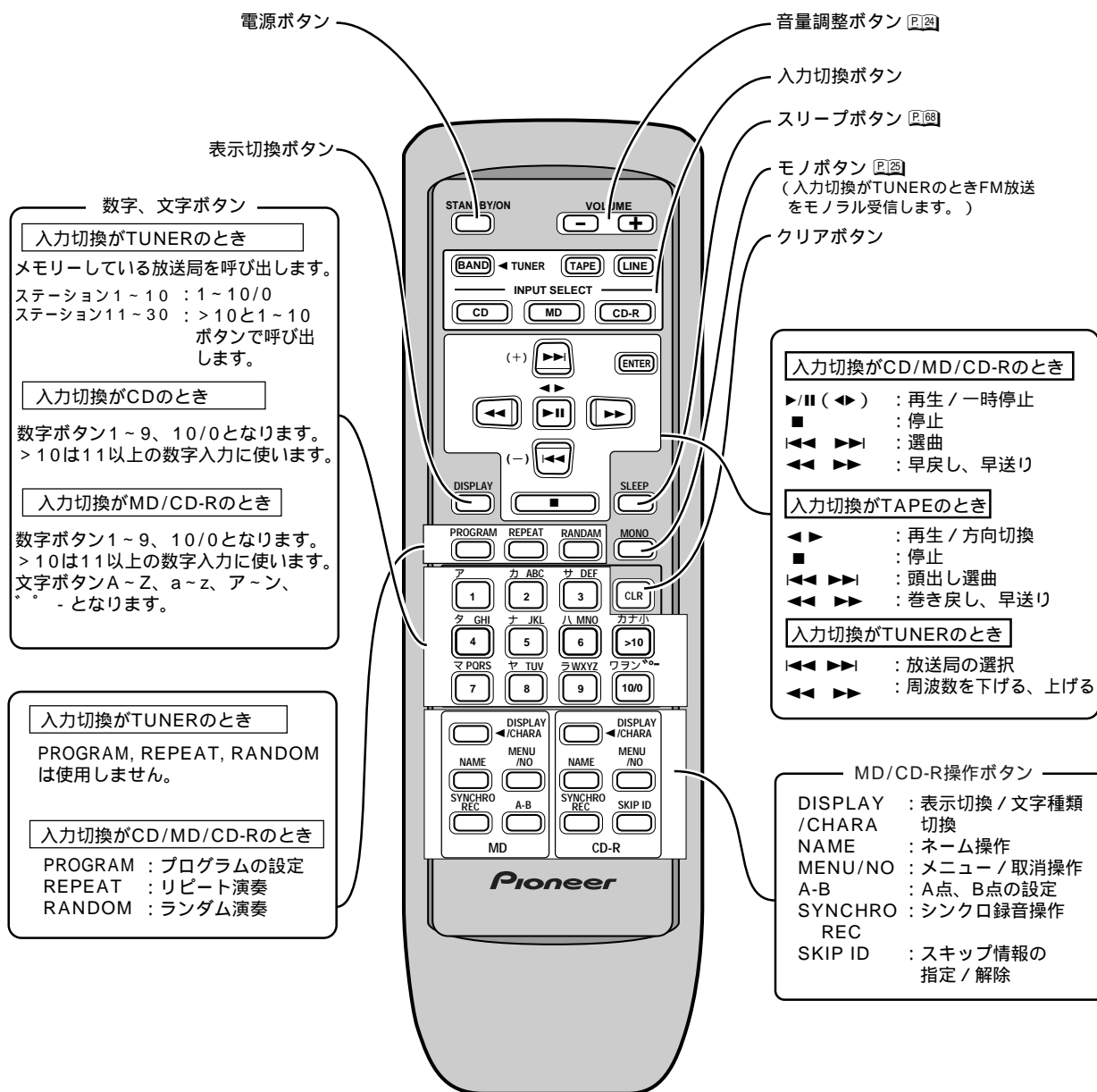
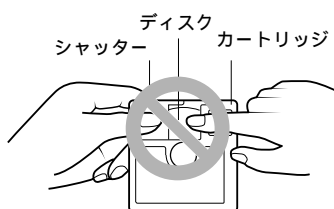
アナログ２
入力端子

表示部

表示切換／キャラクター
ボタン P.33

ネームボタン P.53

マルチジョグ／MD選曲ツマミ
（エンターボタン）

（表示部）

リモコン

＊MDのメニューおよびネーム操作中は、入力切換に関係なく、MDのキーとして使用できます。

MD、CD の取り扱いかた

MD の取り扱いかた

■右記マークのディスクをお使いください。

⚠注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。

●保管●

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
  - 高温多湿の場所
  - 直射日光が当る場所
  - 砂やホコリの入りやすい場所

●カートリッジのお手入れ●

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

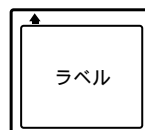
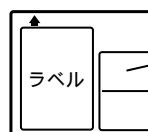
●ラベルの貼り付けについて●

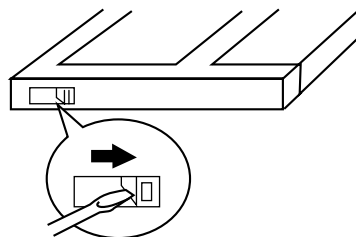
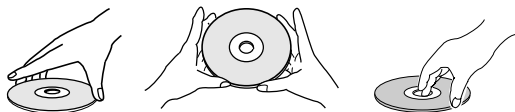
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取り出せなくなります。

- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼り付けないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

● MD の種類について●

再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）

- 録音・再生用 MD

録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

CD の取り扱いかた

右記マークの付いたディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。ただし、PD-N902 では演奏のみすることができます。CD-R および CD-RW ディスクへの録音やファイナライズについては別冊の取扱説明書をご覧ください。

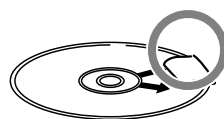
●ディスクの持ちかた●

信号面（虹色に光っている側）にふれないてください。

●保　管●

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

●特殊な形のディスクについて●

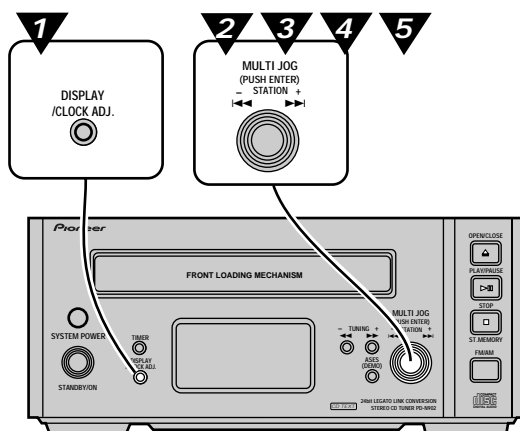
本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

●ディスクのお手入れ●

- 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。

円周に沿って拭かない

柔らかい布で内周から
外周方向へ軽く拭く

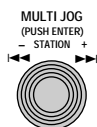
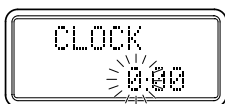
- ディスクの清掃には別売ディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

●ビデオ CD の再生●

- 本機はビデオ CD の再生をすることはできません。

時計を合わせる

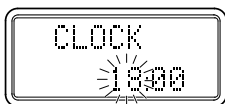
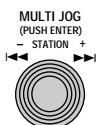
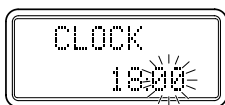
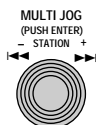
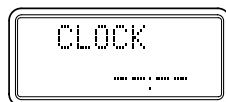
- 電源オフ(スタンバイ)で行います。
- 24時間表示です。
- 時計合わせをしていないとタイマーが使えません。

（例）午後6時40分(18:40)に合わせる場合

1 時計合わせ / 表示切換ボタン(DISPLAY/CLOCK ADJ.)を約3秒間押す

DISPLAY
/CLOCK ADJ.

2 マルチジョグを回して"時"を合わせる

3 マルチジョグを押す

4 マルチジョグを回して"分"を合わせる

5 時間になったらマルチジョグを押す

電話の時報などで合わせることをおすすめします。

おねがい

停電があったときは時計を合わせ直してください。

- 電源オフ(スタンバイ)中に**時計合わせ / 表示切換ボタン(DISPLAY/CLOCK ADJ.)**を押したときのみ、約5秒間時刻を表示します。(電源オフ(スタンバイ)中の消費電力を抑えるため)
- 時計合わせをしていない場合は、下記の表示になります。

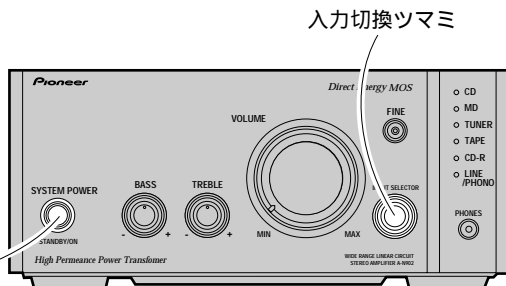
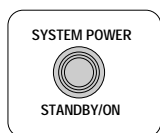
CLOCK
--:--

電源を入れる / 演奏する

もう一度「接続のしかた」を見て、スピーカーやアンテナなどが接続されているか確認しましょう。

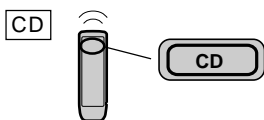
- **すべての機器の電源の入/切はアンプ、CDチューナーの電源スイッチ(SYSTEM POWER)またはリモコンの電源ボタンで行います。**
- **リモコンの入力切換ボタン(INPUT SELECT)を押しても電源が入って再生をはじめます。(ダイレクトパワーオン)**

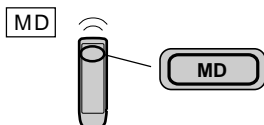
“入”のときは音量調整ツマミの周りのインジケーターが点灯、“切”のときは消灯

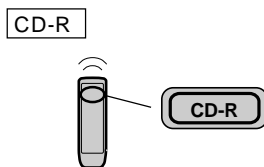
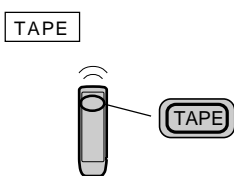
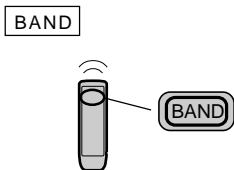
入力切換ツマミ

図は A-N902 です

ダイレクトパワーオン

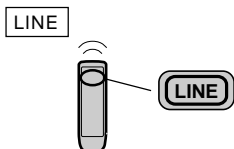
リモコンでのみ操作できます。

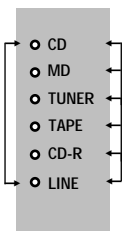
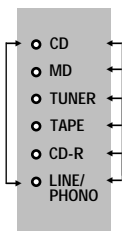
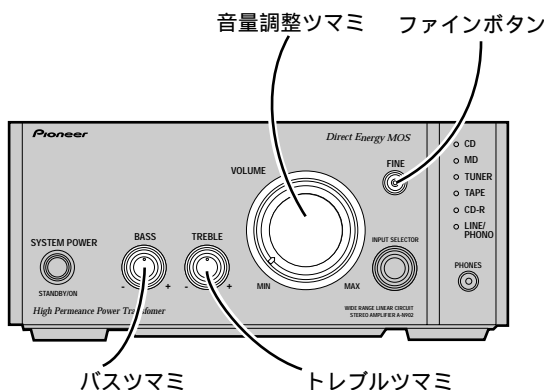
CD

CDが入っているときに、CDボタンを押すと、演奏をはじめます。

MD

MDが入っているときに、MDボタンを押すと、演奏をはじめます。

CD-R

CD または CD-R、CD-RW ディスクが入っているときに、CD-R ボタンを押すと、演奏をはじめます。

BAND ボタンを押すと、ラジオ放送になります。
押すごとに下記のように切り換わります。

TAPE

テープが入っているときに、TAPE ボタンを押すと、演奏をはじめます。
前に再生していた方向へ再生します。もう一度ボタンを押すと逆方向になります。

LINE

LINE ボタンを押すと、外部入力になります。

入力を切り換える

入力切換ツマミ（INPUT SELECTOR)を回して演奏したい機器に合わせます。

A-N902 において LINE と PHONO の入力を切り換える場合は、リアパネルの切換スイッチで行います。その際、大きな音が出る場合がありますので、必ず電源を切った状態で行ってください。
また、フォノイコライザを内蔵していないレコードプレーヤーをつなぐ時以外には、絶対に PHONO 側に設定しないでください。

音量を調整する / 音質を変える

図は A-N902 です

音量を調整する

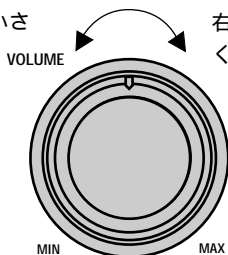
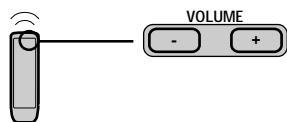
リモコンでも操作できます。

音質を変える

低音 BASS

高音 TREBLE

に回すと弱まり、に回すと強められます。

MD の録音、あるいはテープ録音の音声は、設定した音質の設定には関係ありません。

オートトーンダイレクト
バス(BASS)と**トレブル(TREBLE)**、両方のツマミを中央にセットした場合に、オートトーンダイレクトとなり、トーン回路がバイパスされ、よりクリアな音質が得られます。

ファインモードにする

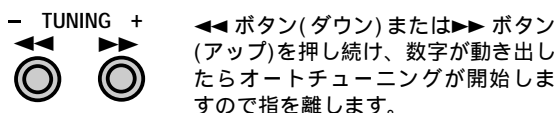
ファインモードにすることによって、小さい音量のときの微調整がしやすくなります。また、低音、および高音が増強され、小さい音量のときでも聴きやすい音になります。

ファインオン（インジケーター点灯）

ファインオフ（インジケーター消灯）

- ファインモードをオンからオフにするときに、約2秒間無音になり、自動的に音量が絞られます。
- 音量を絞っている間は**ファインボタン（FINE）**のインジケーターが点滅します。

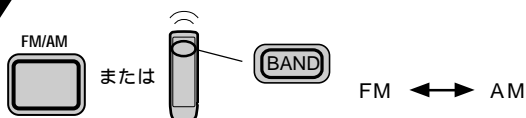
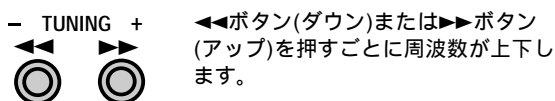
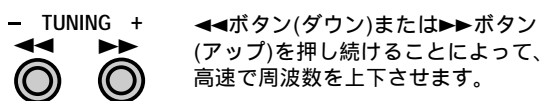
ラジオ放送を聞く

アンテナは接続されていますか？ P.11

放送を受信する(チューニング)

1 FM または AM を選ぶ

2 受信する

オートチューニング

◀◀ ボタン(ダウン)または▶▶ ボタン(アップ)を押し続け、数字が動き出したらオートチューニングが開始しますので指を離します。

放送を受信すると自動的に止まり、オートチューニングは解除されます。

マニュアルチューニング

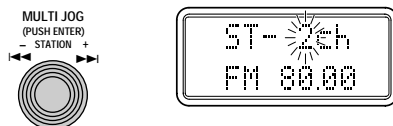
◀◀ボタン(ダウン)または▶▶ボタン(アップ)を押すごとに周波数が上下します。

ハイスピードチューニング

◀◀ボタン(ダウン)または▶▶ボタン(アップ)を押し続けることによって、高速で周波数を上下させます。

- リモコン**◀◀ ボタン**、**▶▶ ボタン**でも操作できます。
- FMステレオ放送を受信して雑音が多いときはリモコンの**MONOボタン**を押してください。表示部にMONOが点灯し、モノラル受信になりますが聞きやすくなります。

放送局を記憶する(ステーションメモリー)

最大30局の放送局をメモリーできます。
モノラルのオン / オフもメモリーできます。

(例)FM80.0MHzをステーション2へメモリーする場合

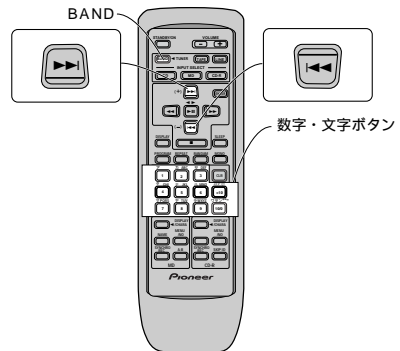
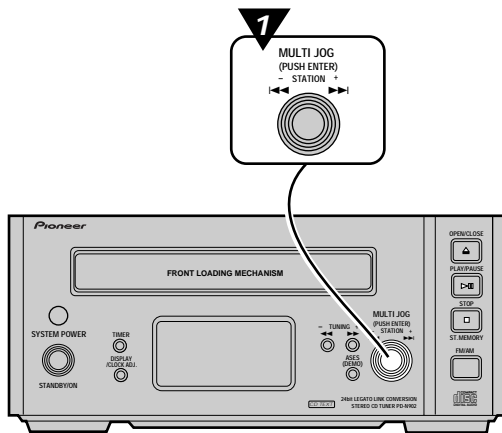
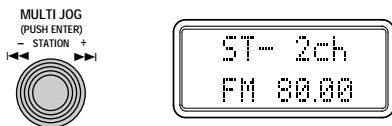
1 記憶したい放送局を受信する

2 ステーションメモリーボタン(ST.MEMORY)を押す

3 マルチジョグを回して、ステーション番号を選ぶ

4 マルチジョグを押す

メモリーが完了します。

ステーションメモリーを中止したいときは、**ステーションメモリー（ST.MEMORY）ボタン**を押します。

放送局を呼び出す(ステーションコール)

1 マルチジョグを回して、ステーション番号を選ぶ

●リモコンで呼び出す●

- **入力切換がTUNERのときに数字ボタンで呼び出します。(1～10/0、＞10、CLEAR)**

ステーション 1～9 ： 番号のボタンを押す。

ステーション 10 ： [10/0]

ステーション 11～30 ： [>10] ボタンを押してから番号を選ぶ。

(例)

ステーション 11 .... [>10] [1] [1]

ステーション 15 .... [>10] [1] [5]

ステーション 30 .... [>10] [3] [10/0]

クリアーボタン（[CLR]）を押すと入力を解除します。

リモコンの |◀◀ **ボタン、▶▶| ボタン**でも呼び出せます。

- すでにメモリーされているステーションへメモリーすると前の放送局は消去され、新しい放送局がメモリーされます。
- FM90MHz～108MHz はテレビ信号が影響して正常にオートチューニングできないことがあります。
- テレビ受信はFM受信と兼用のため、FM放送が混信することがあります。

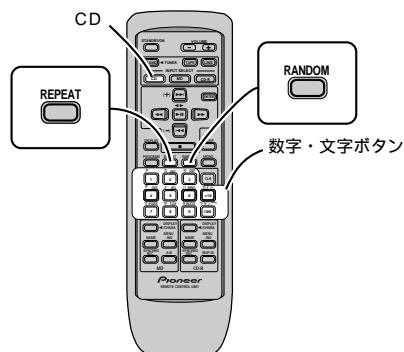
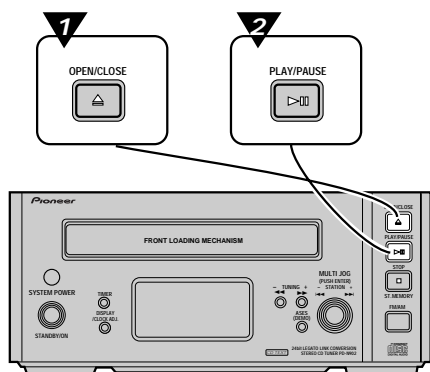
テレビの 1～3 チャンネルは次の周波数です。
1ch:　95.75MHz
2ch:　101.75MHz
3ch:　107.75MHz
音声はモノラルまたは主音声のみです。

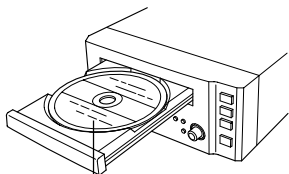
ステップ周波数を切換えるには

国内では通常 FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHzごとに変わるように設定されていますが(ステップ周波数)、これをFM放送は100kHzステップに、AM放送は 10kHz ステップに変えることができます。

1. 電源をオフにする。
2. ステーションメモリーボタンを 3 秒間押しつづける。周波数表示を約 5 秒間行います。
3. ステップ周波数表示が出たら、約 5 秒以内にステーションメモリーボタンを押してステップ周波数を選ぶ。ステップ周波数表示を約 5 秒間行います。

CD を聞く

（PDR-N902 の操作については別冊をご覧ください）

1曲目から順に再生する

1 ディスクを入れる

レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上にします。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す

PLAY/PAUSE

再生を止める	STOP
再生を一時停止する	PLAY/PAUSE
一時停止から再生を再開する	PLAY/PAUSE
頭出しをする ● マルチジョグ／CD 選曲ツマミ(MULTI JOG)を回して、希望の曲を選びます。 ● 停止中は頭出しの曲を設定できます。再生するときは再生／一時停止を押します。	MULTI JOG (PUSH ENTER) – STATION +
早送り／早戻しをする ● 再生中に押しつづけます。 ● ディスクを最後まで早送りすると、一時停止になります。	– TUNING +

再生、停止、一時停止、頭出し、早戻し、早送りは、リモコンでも操作できます。

聞きたい曲を選ぶ
（リモコン操作）

入力切換が CD のときに数字ボタンを押すと、その曲を再生します。

1 〜 9　　：番号のボタンを押す。

10　　：10/0 を押す。

11 以上　　：>10 を押してから番号を選ぶ。

（例） 15 曲目 .... >10 1 5

20 曲目 .... >10 2 10/0

クリアーボタン（CLR）を押すと入力モードを解除します。

繰り返し再生する（リピート再生）

1 曲だけの繰り返しと、全曲の繰り返しができます。

リピート演奏をやめるには

リピートオフを選ぶ(インジケーター消灯)。

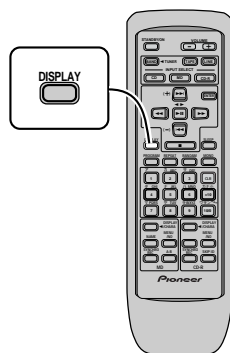
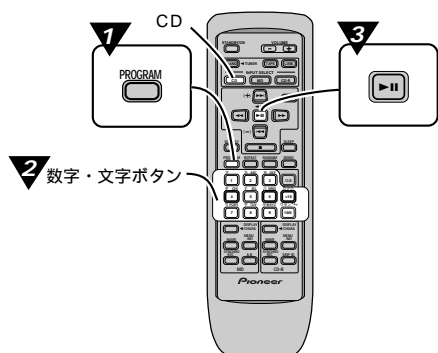
順不同で再生する（ランダム再生）

曲を無作為に選んで 1 回ずつ再生します。

リモコンの RANDOM ボタンを押す

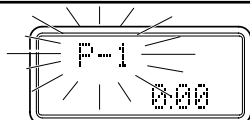
ランダム再生をやめるには

● 再生を停止する(□)。

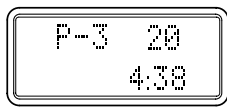
準備　基本操作　MD編集　応用操作　その他

好きな曲を予約する(プログラム再生)

リモコンで行います。
24 ステップまでプログラムできます。

(例)CD で 3 曲目、10 曲目、20 曲目の順に再生する場合。

1 入力切換が CD のときで停止中に PROGRAM ボタンを押す

P-1 が点滅します。

2 曲番を指定する

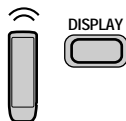
プログラムステップ数とプログラム総再生時間を約1秒間表示します。

3 再生 / 一時停止ボタンを押す

再生をはじめます。

プログラムを取り消すには

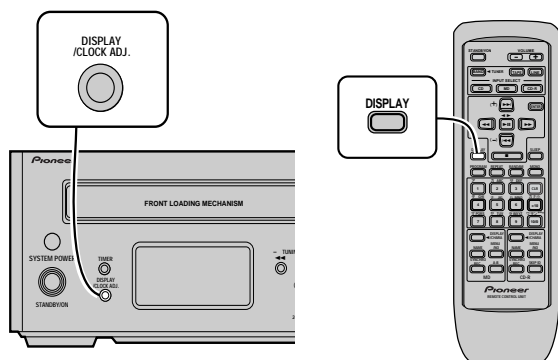
下記のいずれかの操作で取り消せます。

- 停止ボタンを 2 回押す。
- ディスクトレイ開閉ボタンを押して、CD を取り出す。
- 電源をオフにする。

曲番をまちがえたときには

クリアーボタン（CLR）を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

表示を切り換える

CD再生中にCDチューナーの**時計合わせ / 表示切換ボタン(DISPLAY/CLOCK ADJ.)**を押して順に切換えることができます。

① 再生中の曲番、再生経過時間
② 再生中の曲番、1 曲の残り時間
③ 全曲の残り時間
④ 総曲数、総再生時間

- **CD を 2 枚**重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- 8cmCD アダプターは使用しないでください。

- 1 曲リピート中に選曲／ CD 選曲ツマミ(Tuning)で別の曲に移ったときは、その曲を繰り返します。
- ランダム再生中に全曲リピートにするとランダム再生を繰り返します。（ランダムリピート）
- プログラム再生中にリピート再生にするとプログラム再生を繰り返します。（プログラムリピート）
- プログラム再生中に**ランダムボタン(RANDOM)**を押すとプログラム再生が解除されランダム再生します。
- ランダム再生中に**ランダムボタン(RANDOM)**を押すと、再生中の曲を中止し、別の曲を選んで再生します。
- ランダム再生中は全曲の残り時間は表示しません。

CDテキストについて

- CDテキストの入力されたCD-R、CD-RWや、下記マークのいずれかが記載されたCDテキスト対応のCDは、本機（PD-N902）でネーム情報を表示することができます。

- CDテキストとはCDの**ディスクネーム**、**トラックネーム**、**ディスクアーティストネーム**などの文字情報のことです。本機（PD-N902）でディスクネーム、ディスクアーティストネームを表示する場合は、収録されている曲数に関係なくそれぞれ72文字、58文字まで表示することができます。トラックネームは収録されている曲数によって表示できる文字数が変わりますが、表示可能文字数を超えている場合は表示できる範囲内で表示します。また31曲以上収録されたCDの場合は、1～30曲目までのタイトルは1曲あたり14文字まで表示し、31曲目以降のタイトルは表示されません。
- 表示できる文字の種類は以下の通りです。
  アルファベット (大文字)
  　ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
  アルファベット (小文字)
  　abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
  数字 / 記号
  　1234567890!”＃＄%＆’()＊+,—./:;<=>?
  　@[\]^_`{|}˜(スペース)

ネーム表示を切り換える

本体の時計合わせ／表示切換ボタン(DISPLAY/CLOCK ADJ.)、またはリモコンのDISPLAYボタンを押すたびに、順に切り換えることができます。

停止中

●曲番指定がないとき（ディスクモード）

① ディスクネーム表示

② ディスクアーティストネーム表示
（ノーネームの場合には、ARTIST NO NAMEと1秒間表示したあとに、総再生時間表示になります。）

③ 全曲数および総再生時間

①に戻る

●曲番指定したとき（トラックモード）

① 曲番指定した曲のトラックネーム表示
（ノーネームの場合には、TRK＿NO NAMEと1秒間表示したあとに、時間表示になります。）

② 曲番指定した曲の再生時間

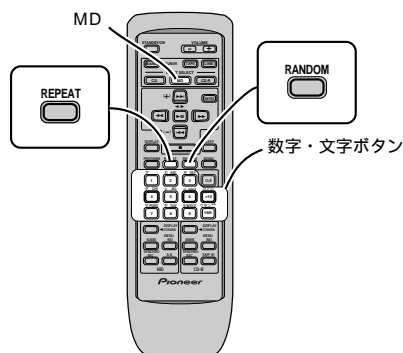
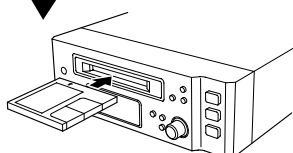
①に戻る

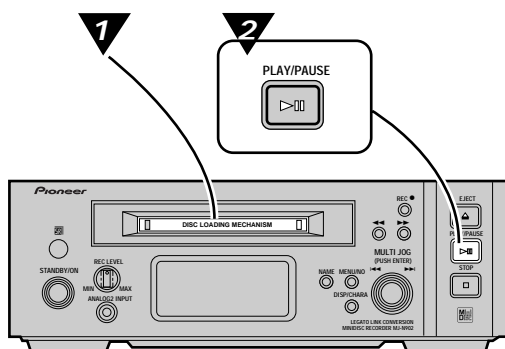
再生中および再生一時停止中

① 再生中の曲番およびその曲のトラックネーム表示
（ノーネームの場合には、TRK _ NO NAMEと1秒間表示したあとに、経過時間表示になります。）

② 再生中の曲番およびディスクの再生経過時間

③ 再生中の曲番およびその曲の再生残り時間

④ ディスクの再生残り時間

⑤ 全曲数および総再生時間

①に戻る

ＭＤを聞く

１曲目から順に再生する

1 ＭＤを入れる

ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す

再生する前にディスクの最初に記録されている TOC 情報を読み取りますので、その間は音が出ません。

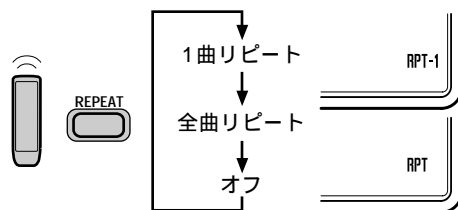
再生を止める	STOP ■
再生を一時停止する	PLAY/PAUSE
一時停止から再生を再開する	PLAY/PAUSE
頭出しをする ● マルチジョグ／MD選曲ツマミ(MULTI JOG)を回して、希望の曲を選びます。 ● 停止中は頭出しの曲を設定できます。 再生するときは再生／一時停止を押します。	MULTI JOG (PUSH ENTER)
早送り／早戻しをする ● 押しつづけます。 ● ディスクの最後まで早送りすると、一時停止となります	◀◀ ▶▶

再生、停止、一時停止、頭出し、早送り、早戻しはリモコンでも操作できます。

聞きたい曲を選ぶ

（リモコン操作）

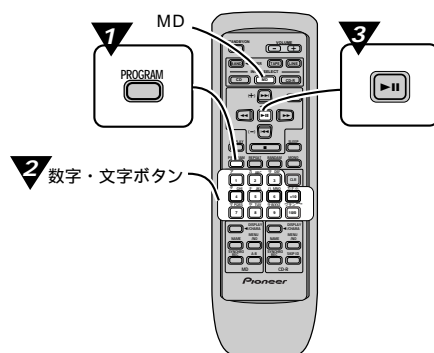
入力切換がＭＤのときに数字ボタンを押すと、その曲を再生します。

１～９　　：番号のボタンを押す。
10　　　：[10/0] を押す。
11～99　：[>10] を押してから数字ボタンで番号を選ぶ。
100 以上　：[>10] を２回押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

（例）15 曲目…………………… [>10] [1] [5]
20 曲目…………………… [>10] [2] [10/0]
108 曲目………………… [>10]、[>10]、[1] [10/0] [8]

クリアーボタン（[CLR]）を押すと入力モードを解除します。

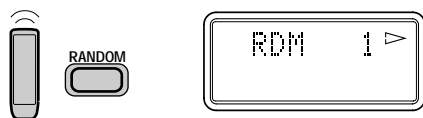
繰り返し再生する（リピート再生）

１曲だけの繰り返しと、全曲の繰り返しができます。

リモコンの REPEAT ボタンを押す

リピート再生をやめるには
リピートオフを選ぶ(インジケーター消灯)。

順不同で再生する（ランダム再生）

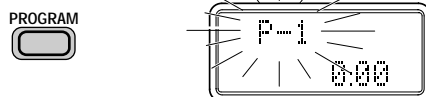
曲を無作為に選んで1回ずつ再生します。

リモコンのRANDOMボタンを押す

ランダム再生をやめるには

- 再生を停止する(□)。

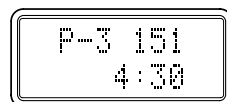
- 「再生専用MD」､「録音・再生用MDで誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると**再生ボタン**を押さなくても再生をはじめます。
- 曲名が入っているMDは再生時に曲名を表示します。

- ランダム再生中に全曲リピートにするとランダム再生を繰り返します。(ランダムリピート)
- プログラム再生中にリピート再生にすると、プログラム再生を繰り返します。(プログラムリピート)
- プログラム再生中に**ランダムボタン(RANDOM)**を押すとプログラム再生が解除され、ランダム再生します。
- ランダム再生中に**ランダムボタン(RANDOM)**を押すと、再生中の曲を中止し、別の曲を選んで再生します。
- リピート再生中に編集メニュー (44ページ) に入ると、リピート再生を解除します。

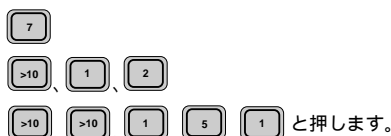
好きな曲を予約する(プログラム再生)

リモコンで行います。

24ステップまでプログラムできます。

(例)7曲目､12曲目､151曲目の順に再生する場合。

MD停止中に

1 PROGRAMボタンを押す

2 曲番を指定する

と押します。

プログラムステップ数および曲番、プログラムの総再生時間を表示します。

P-3 151
4:30

3 再生 / 一時停止ボタンを押す

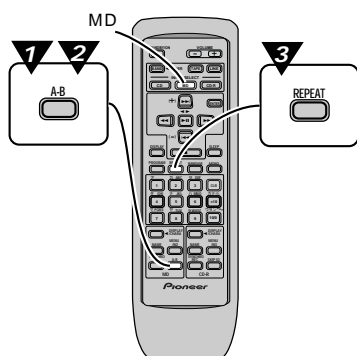
再生をはじめます。

プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取り消せます。

- 停止ボタンを2回押す。
- ディスク取出しボタンを押して、MDを取り出す。

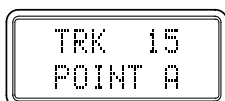
曲番をまちがえたときには

停止中に**クリアーボタン**（CLR）を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

曲の途中を繰り返して再生する (A-B リピート再生)

リモコンで行います。

MD 再生中に

1 A-B ボタンを押す

TRK 15
POINT A

繰り返しのはじまり(Aの位置)を指定します。

2 A-B ボタンを押す

TRK 15
POINT B

繰り返しのおわり（B の位置）を指定します。

3 REPEAT ボタンを押す

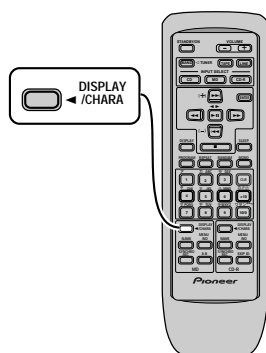
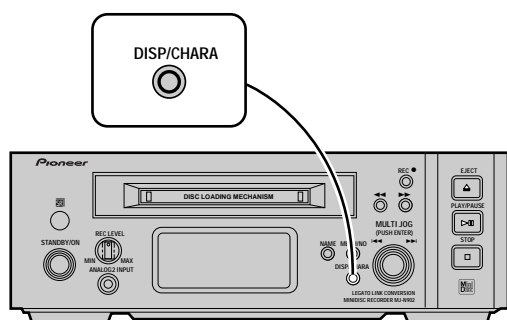
A-Bリピートオン

A-B リピートをオンにすると、表示部に **A-B** と **REPEAT** が点灯し、オフにすると消灯します。

A-B リピートを取り消すには

下記のいずれかの操作で取り消せます。

- REPEAT ボタンを押す。
- 再生を停止する
- ディスク取出しボタンを押して、MD を取り出す。

- ランダム再生およびプログラム再生中は A-B リピート再生は操作できません。
- A-B リピート再生を解除すると、指定した A-B の位置も解除されます。
- **リピートボタン(REPEAT)**を押してA-Bリピート演奏を解除すると、解除した位置の曲の最初から再生します。

表示を切り換える

本体の表示切換／キャラクターボタン(DISP/CHARA)、またはリモコンのDISPLAY/CHARAボタンを押すたびに、順に切り換えることができます。

停止中

● **曲番指定がないとき（ディスクモード）**

① ディスクネーム表示
（ノーネームの場合には、DISC NO NAME と 1 秒間表示したあとに、総再生時間表示になります。）

⬇

② 全曲数および総再生時間

⬇

③ 録音できる残り時間
（再生専用 MD では表示しません。）

⬇

① に戻る

● **ディスクネーム表示中に、曲番指定したとき（トラックモード）**

① 曲番指定した曲のトラックネーム表示
（ノーネームの場合には、TRK __ NO NAME と 1 秒間表示したあとに、時間表示になります。）

⬇

② 曲番指定した曲の再生時間

⬇

① に戻る

● **全曲数および総再生時間表示中に、曲番指定したとき（トラックモード）**

① 曲番指定した曲の再生時間

⬇

② 曲番指定した曲のトラックネーム

⬇

① に戻る

再生中および再生一時停止中

① 再生中の曲番およびその曲のトラックネーム表示
（ノーネームの場合には、TRK _ NO NAME と 1 秒間表示したあとに、経過時間表示になります。）

⬇

② 再生中の曲番およびディスクの再生経過時間

⬇

③ 再生中の曲番およびその曲の再生残り時間

⬇

④ ディスクの再生残り時間

⬇

⑤ レベルメーターおよびディスクの再生経過時間

⬇

① に戻る

録音中および録音一時停止中

① レベルメーター表示およびディスクの録音経過時間

⬇

② レベルメーター表示およびディスクの録音残り時間

⬇

③ 録音曲番およびトラックネーム表示
（ノーネームの場合には、TRK _ NO NAME と 1 秒間表示したあとに、経過時間表示になります。）

⬇

④ 録音曲番およびディスクの録音経過時間

⬇

① に戻る

MDに録音する前にお読みください

MD録音とテープ録音のちがい

- MDは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。P.33

TOC(Table of Contents)について

MDに録音をすると、曲番や録音場所などの情報がディスクの内周部分に記録されます。再生や編集はこれらを使って行います。

TOCは次のときにMDに記録されます。

- MDを取り出したとき
- 電源を切ってスタンバイになるとき

TOCの記録中(" TOC WRITE "点滅中)に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しい再生ができなくなる場合があります。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は44.1kHzです。他のサンプリング周波数の機器(BS/CSチューナー、DVD、DATの一部)でも32kHz、48kHzでのサンプリング周波数であれば自動的にその周波数に切り換わり、デジタル録音することができます。なお、DVD、BS/CSチューナーなどでデジタルコピーが禁止されている、あるいは96kHzのサンプリング周波数は変換できません。このときにはアナログ録音に切り換えてください。

曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

- **CD、CD-RまたはCD-RWのデジタル録音**
  ディスクの曲番と同じところに、1曲ごとの曲番が自動的につきます(シンクロマーク機能)。ただし、CDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。
- **ラジオ放送の録音**
  1回の録音を1曲として曲番を付けます。
- **CD、CD-R、CD-RW、MD以外のデジタル録音やテープ、外部機器のアナログ録音**
  - 1.5秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番をつけます(オートマーク機能)。
    ただし、雑音があるときなど、録音の内容によって正しい位置につかないこともあります。
  - オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として録音することもできます。P.44
- **外部機器のデジタル録音**
  録音ソースがCD、CD-R、CD-RW、MDの場合、ソースの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的に付けられます。(シンクロマーク機能) ただし、録音ソースの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。録音ソースがCD、CD-R、CD-RW、MD以外の場合は必要に応じてオートマーク機能をご使用ください。

デジタル/アナログ録音の切り換えについて

- CD、CD-R、CD-RW、あるいはMDに接続された外部機器を録音するときのみ、切り換え可能です。
  本体のメニュー操作、またはリモコンで切り換えます。
- ラジオ放送、テープを録音するときは、アナログ録音となります。

注意!!

次のようなときは録音できません

- **再生専用MD(市販の音楽ソフト)に録音しようとしたとき。**
- **MDの誤消去防止状態になっているとき。**
- **MDの録音可能時間が残っていないとき。**
- **"TOC(トック) FULL(フル)"が表示されたとき。**
- **TOC(トック)が異常なとき。**

デジタルコピーに関するご注意

CDからデジタル録音したものを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)により定められているためです。

録音レベルについて

- デジタル録音時は、録音レベルの調整の必要はありません。
- アナログ録音時は、録音をはじめる前に録音レベルを調整します。 P.39

録音中に停電すると

MDへの録音中にコンセントが抜けたり、停電があっても、その時の録音内容を保持します(停電前数秒間の音声は除きます)。
次に電源がオンになった時にTOCの記録を行います。ただし録音内容を保持できるのは約2日程です。電源プラグをコンセントから抜く場合には必ずディスクを取り出してからにしてください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会
電話 (03)-5353-0336

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

MD のシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていない、および曲数が最大(255曲)になっていないのに“TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集を繰り返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレース機能を行なえば最初から使用できます。)
MDの最大録音時間になってないのに“DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲（CDやMDなど）と、アナログ入力から録音した曲や、ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集を繰り返して行なったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

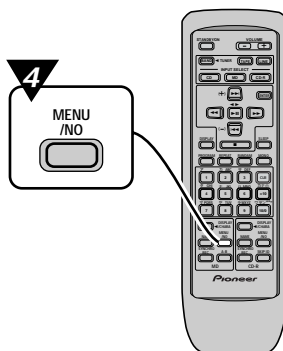
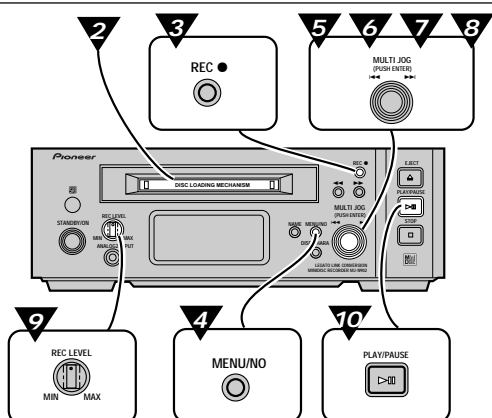
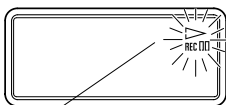
こんな表示が出たときは

表　示	意　味	このようにしてください
NO DISC（ノー ディスク）	● MDが入っていない。 ● MDのデータが読めない。	● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
DISC ERR（ディスク エラー）	● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、データに異常がある。	● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取り替える。
?　DISC（ディスク）	● データに異常がある。規格外のMDである。 ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり読めない。	● 他のMDと取り替える。
DISC FULL（ディスク フル）	● MDに録音できる空きがない。	● オールイレースをし、録音をやり直す。 ● 他の録音用MDと取り替える。
BLANK DISC（ブランク ディスク）	● 何も記録されていない。 （音楽もディスク名も記録されていない。）	● 再生するときは、録音されたMDと取り替える。
PLAY ONLY（プレイ オンリー）	● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。	● 録音用MDと取り替える。
PROTECT（プロテクト）	● MDが誤消去防止状態になっている。	● 誤消去防止状態をもとに戻す。
TOC FULL（トック フル）	● 曲番や文字情報（ディスク名／曲名など）を登録する空きがない。	● 他の録音用MDと取り替える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
Can't REC（キャント レコ）	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	● 録音をやり直すか、MDを替えてみる。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
TEMP OVER（テンプ オーバー）	● 温度が高くなりすぎた。	● 電源を切ってしばらく休ませる。 ● 5ページのように設置してください。
Can't EDIT（キャント エディット）	● 編集できない。	● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
NAME FULL（ネーム フル）	● ディスク、曲名の合計が1700文字をこえている。	● ディスク名／曲名を短くする。
DEFECT（デフェクト）	● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。	● 他の録音用MDと取り替える。
MECHA ERR（メカ エラー）	● MDが正しく働いていない。	● MDの停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、ACプラグを抜いて再度つないでみる。
Can't COPY（キャント コピー）	● コピー禁止のものから録音しようとした。	● コピー可能なもの（一般のCDなど）に換える。 （表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。）
NOT AUDIO（ノット オーディオ）	● オーディオ用でないデータが記録されている。	● MDを取り替える。
UTOC ERR W（ユートック エラー ライト）	● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 （書き込み中はショックを与えないでください。）
UTOC ERR R（ユートック エラー リード） UTOC ERR（ユートック エラー）	● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	● 他のMDと取り替える。 ● オールイレースをし、録音をやり直す。
POINT ERROR（ポイント エラー）	● A-B編集またはA-BリピートでのA点、B点の指定がおかしい。	● A点、B点の指定および微調整をやり直す。

MD に録音する前にお読みください

表　示	意　味	このようにしてください
フォーカス エラー FOCUS ERROR	● フォーカスが合わない。	● MD をもう一度入れ直す。 ● 他の MD と取り替える
デジタルイン アン ロック D-IN UNLOCK	● デジタル入力のときに、正常な信号が入力されていない。	● デジタル入力端子に正しく接続されているかを確認する。
トック エラー TOC ERR	● ディスクにキズがあるかTOC情報がMDの規格にあっていなかったり読めない。	● 他の MD と取り替える。
エラー SIO ERROR	● MD レコーダー内の通信がおかしい。	● 電源を数回オン／オフにしてみる。 ● AC プラグを抜いて再度つないでみる。
メモリー フル MEMORY FULL	● 録音中に DRAM の容量がいっぱいになった。	● 録音をやり直す。
ロム エラー EEPROM ERROR	● EEPROM のデータに異常がある。	● AC プラグを抜いて再度つないでみる。
トラック プロテクト TRACK PROTECT	● 該当するトラックにライトプロテクトがかかっている。	● MD を取り替える。

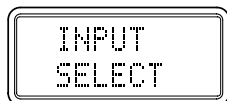
MD に録音する

● 録音できる MD は、録音・再生用 MD です。

マニュアル録音する

1 アンプで演奏する機器を選ぶ

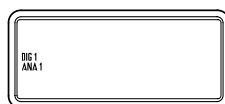
- ラジオ放送を録音する場合は、放送を受信しておいてください。
- MDに接続された外部機器を録音する場合は、アンプの入力をMDにしてください。録音一時停止または録音状態で音を聞くことができます。

2 MD を入れる

誤消去防止状態になっているMDには録音できません。

3 停止から録音ボタンを押す

録音一時停止になります。

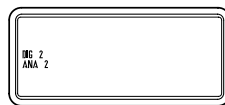
4 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

5 マルチジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ

入力切換がTUNER、TAPEのときはINPUT SELECTを選択することはできません。

INPUT
SELECT

6 マルチジョグを押す

7 マルチジョグを回してデジタル録音、アナログ録音のいずれかを選ぶ

入力切換が CD のとき

デジタル1
（CDの光入力端子）

アナログ1
（リア側のMD入力端子）

デジタル 1 のときは表示部に DIG 1 が点灯し、アナログ 1 のときには ANA 1 が点灯します。

入力切換が MD のとき

デジタル2
（外部デジタル機器の光入力）

アナログ2
（フロント側の外部機器入力端子）

デジタル 2 のときは表示部に DIG 2 が点灯し、アナログ 2 のときには ANA 2 が点灯します。

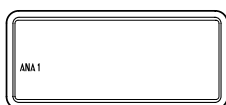
入力切換が LINE、CDR のとき

デジタル2
（外部デジタル機器、CD-R入力端子）

アナログ1
（リア側のMD入力端子）

デジタル 2 のときは表示部に DIG 2 が点灯し、アナログ 1 のときは表示部に ANA 1 が点灯します。

☞ 次ページへ続きます。

入力切換が TUNER、TAPE、PHONO のとき

アナログ1（リア側のMD入力端子）のみになり、切り換えはできません

表示部にANA1が点灯します。

8 マルチジョグを押す

9 録音レベルを調整する

アナログ録音時のみ調整できます。
1 で選んだ機器を演奏状態にしてください。

録音レベルツマミ（REC LEVEL）を回して調整します。
録音レベル表示でレベルオーバー(メーターの一番右端で表示が点灯する)しないようにしてください。

調整が終わったら演奏を停止してください。

10 再生／一時停止ボタンを押す

録音が始まります。

11 1 で選んだ機器を演奏する

録音をやめる	STOP
録音を一時停止する	PLAY/PAUSE
録音を再開する	PLAY/PAUSE

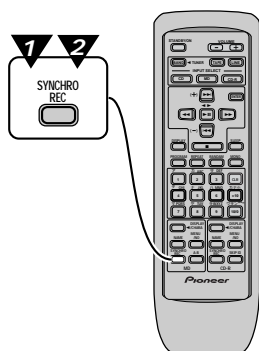
- 録音中にはアンプの入力の切り換えはできません。(録音一時停止にすれば可能です)。
- 音質調整は録音の音質には効果がありません。
- MDの記録曲数は最大255曲ですが、録音、消去、編集を繰り返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

- 録音中に**録音ボタン(REC ●)**を押すと、そこから曲番を1つ増やして、別の曲として録音します。
- デジタル録音、アナログ録音の設定は、最後の状態がメモリーされます。

CDから録音するときのポイント

下記の手順でCDからMDへの録音を始めると、音切れの心配がありません。

① 録音したいディスク、または曲を選ぶ。
② CDチューナーの再生／一時停止ボタン(PLAY/PAUSE)を2回押して、一時停止状態にする。
③ CDチューナーのマルチジョグを⏮方向に1回まわす。(曲の最初で一時停止になります。)
④ MDレコーダーを録音一時停止状態にする。(手順 3)
⑤ MDの録音を始める。(手順 10)
⑥ CDチューナーの再生／一時停止ボタン(PLAY/PAUSE)を押して、再生を始める。

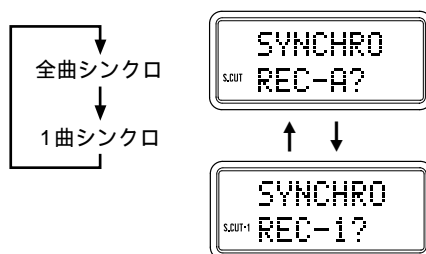
CDの録音時にCDの再生が始まると、曲番が一つ繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要な曲番は一曲を消す（トラックイレース)を参照して削除してください。(51ページ)

シンクロ録音する

デジタル録音、アナログ録音するときに、音楽等が始まると自動的に MD が録音を開始し、音楽等が終わると録音一時停止になります。このときスペースカットとオートマーク機能がはたらきます。(ラジオ放送では、シンクロ録音は選べません)

「マニュアル録音する」(38 ～ 39 ページ)の 1 ～ 9 を行ってください。

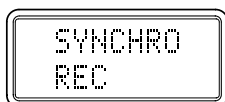
① アンプで演奏する機器を選ぶ。
② MD を入れる。
③ 停止から録音ボタンを押す
④ メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す。
⑤ マルチジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ。
⑥ マルチジョグを押す。
⑦ マルチジョグを回してデジタル録音、アナログ録音のいずれかを選ぶ。
⑧ マルチジョグを押す。
⑨ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。

1 リモコンの SYNCHRO REC ボタンを押す

2 SYNCHRO REC ボタンを押して全曲シンクロ録音か 1 曲シンクロ録音かを選ぶ

全曲シンクロ録音を選ぶと S.CUT が点灯し、1 曲シンクロ録音を選ぶと S.CUT-1 が点灯します。

3 アンプで選んだ機器を演奏する

- 音が出ると同時に録音をはじめます。
- 録音したい機器の演奏をはじめてください。
- 全曲シンクロ録音の場合は、演奏が終わると録音一時停止状態になります。
- 1 曲シンクロ録音の場合は、演奏が終わると停止状態になります。

録音を止める	

シンクロ録音一時停止中あるいは録音中に ▷II ボタンを押すと、シンクロ録音を解除して通常録音あるいは録音一時停止になります。

シンクロ録音を本体メニュー操作するには

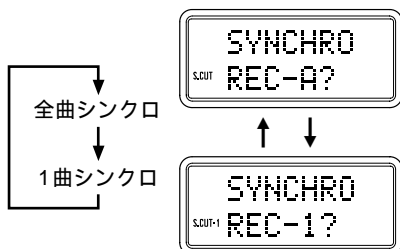
①「マニュアル録音する」（38～39ページ）の1～9を行う。

② メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す。

③ マルチジョグを回して "SYNCHRO REC" を選ぶ。

SYNCHRO
REC

④ マルチジョグを押す。

⑤ マルチジョグを回して、全曲シンクロ録音か 1 曲シンクロ録音かを選ぶ。

⑧ マルチジョグを押す。

⑨ アンプで選んだ機器を演奏する。

メニュー操作を中止するには

メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す。

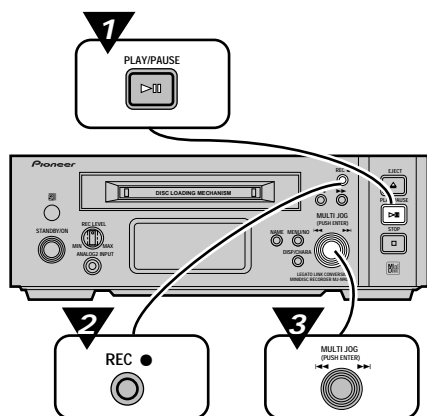
シンクロマーク機能

デジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的に付きます（シンクロマーク機能）。ただし録音ソースの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

スペースカット機能

- シンクロ録音時、演奏に 4 秒以上の無録音があるときは、自動的に録音の待機状態になります。このあと演奏がはじまると録音を再開します。（4 秒間の曲間ができます）
- 演奏音の曲間に雑音があるとシンクロ録音やスペースカット機能が正しく働かないことがあります。その場合は、マニュアル録音してください。
- 非常に小さな音が 4 秒以上続く曲や、会話などはマニュアル録音を行ってください。
- 録音レベルの調整が低すぎる場合には、シンクロ録音が働かないことがあります。

オートマーク機能

- 1.5秒以上の無音部分を曲間とみなして自動的に次の曲番をつける機能です。

曲の途中から録音する(オーバーライト録音)

新たに録音をはじめた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

1 MD 再生中に録音をはじめたいところで再生 / 一時停止ボタンを押す

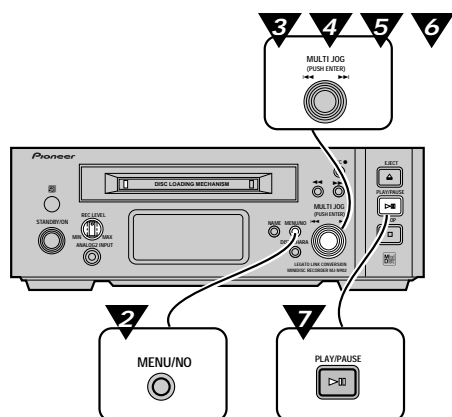
再生一時停止になります。

2 録音ボタン(REC ●)を押す

オーバーライト録音をしない場合は、**メニュー／取消ボタン(MENU/NO)**を押してください。

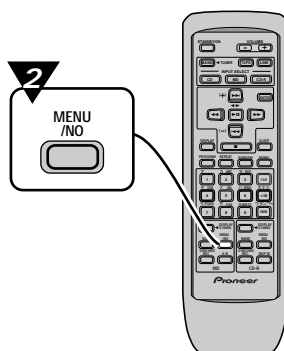
3 マルチジョグを押す

録音一時停止になります。

「マニュアル録音する」（38 ～ 39 ページ）の 1 , 4 ～ 11 を行ってください。

① アンプで演奏する機器を選ぶ。
② メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す。
③ マルチジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ。
④ マルチジョグを押す。
⑤ マルチジョグを回してデジタル録音、アナログ録音のいずれかを選ぶ。
⑥ マルチジョグを押す。
⑦ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。
⑧ 再生／一時停止ボタンを押す。
⑨ ① で選んだ機器の演奏をはじめる。

シンクロ録音をすることもできます(P.40)。

録音を止める	STOP □

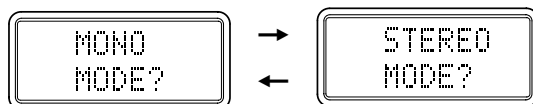
3 で**停止ボタン（STOP）**を押すと、オーバーライト録音を解除して、元の状態に戻ります

モノラルで長時間録音する

- ステレオモードの約 2 倍の時間の録音ができます。
  モノラル演奏の曲やトーク番組などの録音に便利です。
- デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

1 「マニュアル録音する」（38 ～ 39 ページ）の 1 ～ 9 を行う

① アンプで演奏する機器を選ぶ。
② MD を入れる。
③ 停止から録音ボタンを押す。
④ メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す。
⑤ マルチジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ。
⑥ マルチジョグを押す。
⑦ マルチジョグを回してデジタル録音、アナログ録音のいずれかを選ぶ。
⑧ マルチジョグを押す。
⑨ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。

シンクロ録音をすることもできます(P.40)。

2 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

3 マルチジョグを回して "REC MODE" を選ぶ

REC
MODE

4 マルチジョグを押す

5 マルチジョグを回して "MONO MODE ? " を選ぶ

- ステレオモードとモノモードが切り換わります。

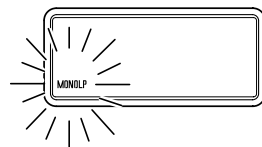
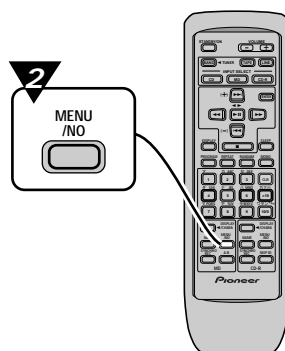
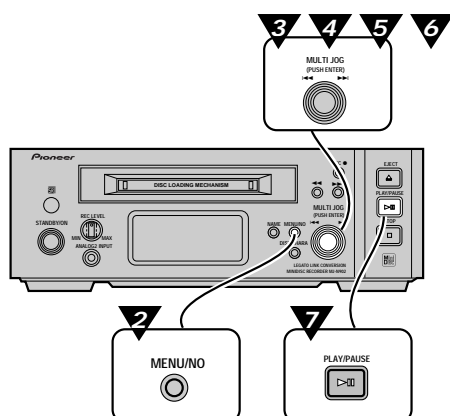
MONO MODE? → STEREO MODE?
←

6 マルチジョグを押す

7 再生 / 一時停止ボタンを押す

録音がはじまります。

8 アンプで選んだ機器を演奏する

録音を止める	STOP

- 次回の録音をモノラルにしてしまわないために、モノラルで録音した後は、ステレオ録音に切り換えておくことをおすすめします。
- モノラル録音中でもレベルメーターはステレオで振れます。

ひと続きの曲として録音する

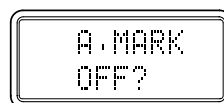
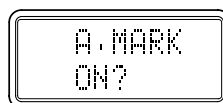
オートマーク機能 P.41 を使わずに、1 回の録音を 1 つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。
CD、MD、CD-R、CD-RW、外部機器(LINE)のアナログ録音や TAPE の録音、または CD、CD-R、CD-RW、MD 以外のデジタル録音で行えます。

1 「マニュアル録音する」（38 ～ 39 ページ）の 1 ～ 9 を行う

① アンプで演奏する機器を選ぶ。
② MD を入れる。
③ 停止から録音ボタンを押す。
④ メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す。
⑤ マルチジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ。
⑥ マルチジョグを押す。
⑦ マルチジョグを回してデジタル録音、アナログ録音のいずれかを選ぶ。
⑧ マルチジョグを押す。
⑨ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。

2 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

3 マルチジョグを回して "AUTO MARK" を選ぶ

AUTO
MARK

4 マルチジョグを押す

5 マルチジョグを回して "OFF" を選ぶ

● オンとオフが切り換わります。

A.MARK ON? → ← A.MARK OFF?

6 マルチジョグを押す

7 再生／一時停止ボタンを押す

● 録音がはじまります。

8 アンプで選んだ機器を演奏する

録音を止める	STOP

オートマークのオン / オフの設定はアンプの入力機器ごと、およびデジタル／アナログでの最後の設定を記憶します。例えば、CD や TAPE からは音楽を録音するのでオンにする、外部機器(LINE)は会話も同時に録音するからオフにする、などを 1 度設定しておくと、録音のたびに設定する必要がなくなり、便利です。

CD、CD-R、CD-RW、あるいは MD のデジタル録音およびラジオ放送の録音の場合は、オートマーク機能は常にオフとなります。

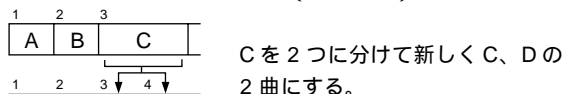
CD、CD-R、CD-RW、あるいは MD のデジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに 1 曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。
ただし、録音ソースの曲番と、録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

ＭＤ編集機能の使いかた

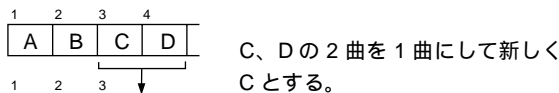
編集メニューについて

編集機能を使って自分だけのディスクづくりができます。

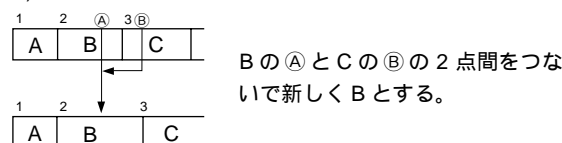
① **1 つの曲を 2 つの曲に分ける（デバイド）**

C を 2 つに分けて新しく C、D の 2 曲にする。

分けた曲以降の曲番は自動的に変更されます。

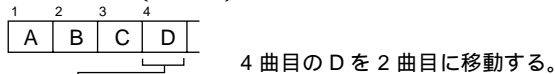
② **連続している 2 つの曲をつないで 1 つの曲にする（コンバイン）**

C、D の 2 曲を 1 曲にして新しく C とする。

つないだ曲以降の曲番は、自動的に変更されます。

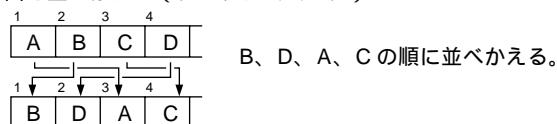
③ **曲の途中と途中をつないで 1 つの曲にする(A-B コンバイン)**

B の Ⓐ と C の Ⓑ の 2 点間をつないで新しく B とする。

Ⓐ-Ⓑ 間は消去されます。
つないだ曲以降の曲番は自動的に変更されます。

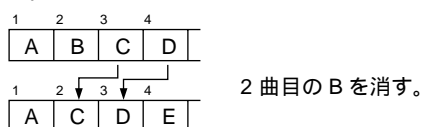
④ **曲を移動する（ムーブ）**

4 曲目の D を 2 曲目に移動する。

並べかえた後の曲番は自動的に変更されます。

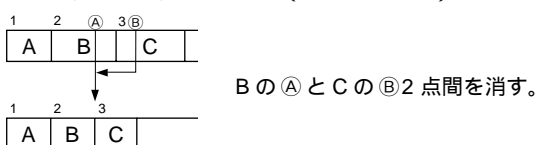
⑤ **曲を並べかえる（プログラムムーブ）**

B、D、A、C の順に並べかえる。

プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえます。並べかえた後の曲番は自動的に変更されます。

⑥ **1 曲または全曲を消してしまう（イレース / オールイレース）**

2 曲目の B を消す。

消した曲は曲名ごと消えます。
全曲を消したときはディスク名も消えます。
消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

⑦ **曲の途中から途中までを消す（A-B イレース）**

B の Ⓐ と C の Ⓑ2 点間を消す。

Ⓐ-Ⓑ 間は消去されます。
消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

⑧ **ディスクや曲に名前を付ける（ネーム）**
アルファベット（A ～ Z、 a ～ z）数字、記号、カタカナで名前を付けることができます。》また、あらかじめ用意された名前（ネームリスト）を利用することもできます。

⑨ **直前に行った編集を、キャンセルして編集前の状態に戻す（アンドゥ）**
直前に行った編集を、やり直したい場合に、その編集をキャンセルして編集前の状態に戻します。

CD やテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバイド、コンバイン機能で曲を整理する。
2. イレース機能でいらない曲、トーク、CM を消す。
3. ムーブ機能で曲を並べかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。

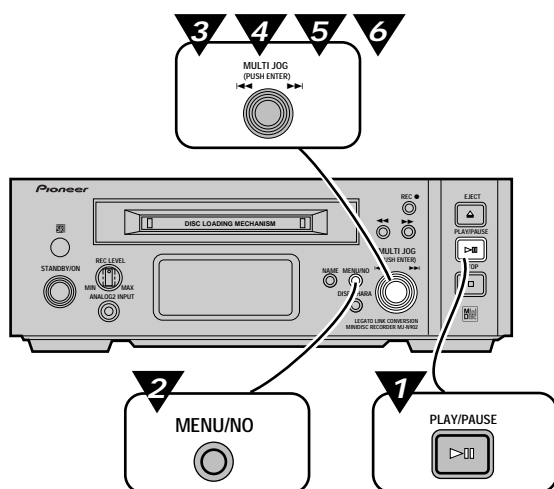
- 誤消去防止状態になっている MD （20 ページ）では、編集 メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は録音可能状態(誤消去防止つまみを閉じる)に してください。
- アセス中は、編集メニューの操作はできません。（61 ページ）

編集メニューの選択

MD レコーダーの状態（動作モード）により選べる編集メニューが異なります。どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。

○印の編集メニューが選べます。

	デバイト	コンバイン	A-B コンバイン	ムーブ	プログラムムーブ	イレース	A-B イレース	オールイレース	トラックネーム	ディスクネーム	アンドゥ
ディスクネーム表示かタイム表示で停止中※	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
録音中／録音待機中	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
曲番表示で停止中	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×
再生中	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×
再生一時停止中	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×
プログラムされていて停止中	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×

※停止中に STOP ボタンを押します。

1 つの曲を 2 つに分ける（デバイド）

（例）3 曲目を 2 つに分ける場合

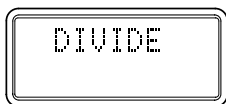
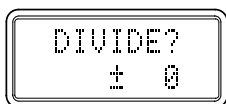
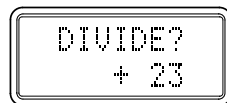
3 曲目を再生し、分けたいところで、再生／一時停止ボタン(▷⫾⫾)を押す

メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

マルチジョグを回して“ DIVIDE ”を選ぶ

DIVIDE

マルチジョグを押す

DIVIDE?
± 0

分ける位置の手前 4 秒間と、後の 4 秒間の音声のリハーサルが始まります。リハーサルの開始する位置で、表示部（±＊＊＊）が一瞬点滅します。

マルチジョグを回す

DIVIDE?
+ 23

分ける位置の微調整を行います。回すたびに、リハーサルをやり直します。

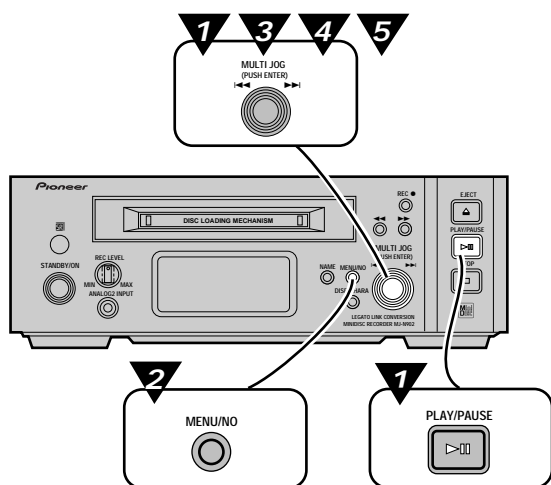
6 マルチジョグを押す

“ EDIT OK ” と表示が出て曲が分けられます。

デバイドを中止するには

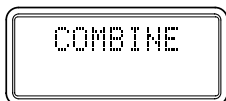
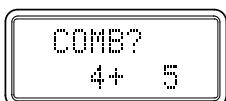
メニュー／取消ボタン（ MENU/NO ◎ ）を押します。

- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

- 分けた曲に曲名が付いていたときは、両方に同じ曲名が付きます。
- 1 枚の MD で最大 254 曲まで曲を分けることができます。（MD の状態によってはできないこともあります。）
- A、B を分ける位置は、約 11.6ms を 1 ステップとして± 255 ステップまで調整できます。

2 つの曲を 1 つにつなぐ（コンバイン）

選んだ曲と、その前の曲をつなぎます。

（例）4 曲目と 5 曲目をつなぐ場合

1 停止中にマルチジョグで 5 曲目を選ぶ。あるいは 5 曲目を再生して、再生／一時停止ボタン(▷⃞)を押し、一時停止状態にする

2 メニュー / 取消(MENU/NO)ボタンを押す

3 マルチジョグを回して“ COMBINE ”を選ぶ

```
COMBINE
```

4 マルチジョグを押す

```
COMB?
   4+  5
```

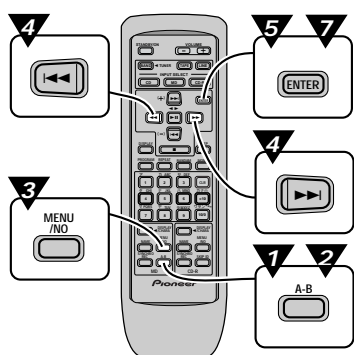
つないで良いかを確認する表示です。

5 マルチジョグを押す

“ EDIT OK ”表示が出て、4 曲目と 5 曲目が 4 曲目として 1 つになります。

コンバインを中止するには

メニュー／取消ボタン（MENU/NO）を押します。

- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲（例では 4 曲目）の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。

曲の途中までと、途中からをつなぎたいときは A-B コンバイン（49 ページ）を参照してください。

曲の途中をつなぐには(A-B コンバイン)

(例)3曲目の途中までと4曲目の途中からをつなぐ場合

1 3曲目を再生し、つなぎたいところにきたらA-Bボタンを押す

TRK 3
POINT A

2 4曲目を選び、つなぎたいところでA-Bボタンを押す

TRK 4
POINT B

3 MENU/NOボタンを押す

4 I◀◀ボタンあるいは▶▶Iボタンで A-B コンバインを選ぶ

A-B
COMBINE

5 ENTERボタンを押す

A: ± 0
B: ± 0

A-B 間をはぶいて、前後の音をつないだ音声のリハーサルを行います。A パート再生中は A が、B パート再生中は B が点滅します。

6 A および B の位置を微調整する

「A-B位置を微調整するには」の操作①〜④を行います。

A-B の位置を微調整するには

- A-B の位置を指定したあとのリハーサル中に、行います。
- ＋にすると曲の後ろのほうへポイントが移動し、－にすると曲の前のほうにポイントが移動します。
- 調整するたびに、リハーサルを最初から行います。

① A-Bボタンを押して、Aを点滅させる。

② I◀◀ボタン、あるいは▶▶Iボタンで、Aの位置を微調整します。

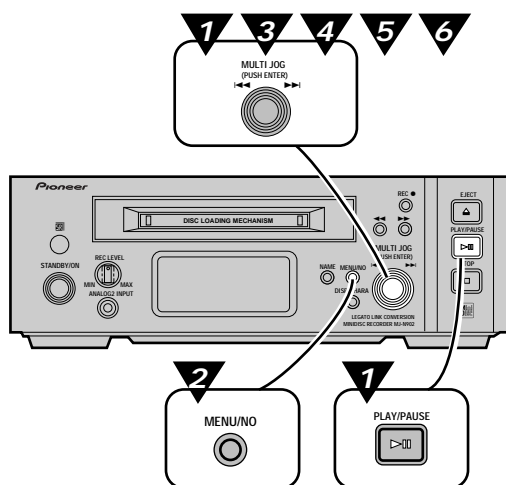
③ A-Bボタンを押して、Bを点滅させる。

④ I◀◀ボタン、あるいは▶▶Iボタンで、Bの位置を微調整します。

7 リハーサルの音を聞いて希望どおりにつながったらENTERボタンを押す

"EDIT OK" と表示が出て、A と B がつながり(A-B 間は消去されます)、3 曲目と 4 曲目が 3 曲目として 1 つになります。

A-B コンバインを中止するには

メニュー／取消ボタン（ MENU/NO ◎ ）を押します。

- リピート再生中やランダム再生中は操作できません。
- プログラムをセットしていると操作できません。
  プログラム解除してください。
- 編集を繰り返し行った MD では、曲がつながらないことがあります。このような場合 A-B イレースを使用してください。

- B の位置は A の位置より後にしか調整できません。
  A 点、B 点の調整中に"POINT ERROR"が表示されたときは、A 点、B 点の位置が正しい位置ではないので、表示が消える位置まで戻してください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

- A、Bの位置は約11.6msを1ステップとして±176ステップまで調整できます。
- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では 3 曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてから A-B コンバイン機能でつないでください。

曲を移動する（ムーブ）

（例）8 曲目を 5 曲目に移動する場合

1 停止中にマルチジョグで 8 曲目を選ぶ。あるいは 8 曲目を再生して、再生／一時停止ボタン(▷⏸)を押し、一時停止状態にする

2 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

3 マルチジョグを回して“ MOVE ”を選ぶ

MOVE

4 マルチジョグを押す

MOVE
8→ 1

5 マルチジョグを回して移動先を“ 5 ”にする

MOVE
8→ 5

6 マルチジョグを押す

“ EDIT OK ”と表示が出て、8 曲目を 5 曲目に移動します。

ムーブを中止するには

メニュー／取消ボタン（MENU/NO）を押します。

- プログラムをセットしていると操作できません。プログラム解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

曲を並べかえる（プログラムムーブ）

1 並べかえたい順にプログラムする

プログラムのしかたは P.31 をご覧ください。

2 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)押す

PGM
MOVE

3 マルチジョグを押す

PGM
MOVE?

並べかえて良いかを確認する表示です。

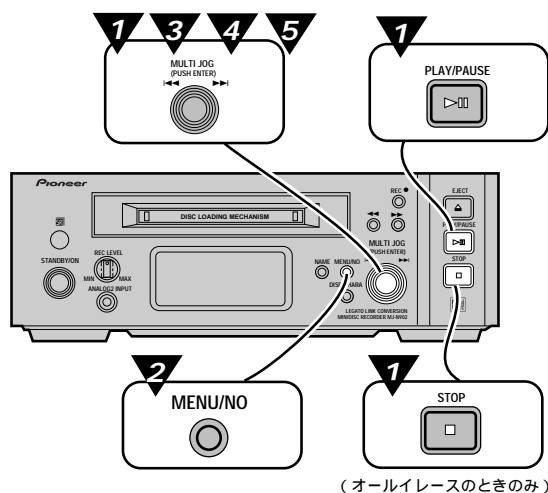
4 マルチジョグを押す

“ EDIT OK ”の表示が出てプログラムした曲の順に並べかえます。
プログラムは解除されます。

プログラムムーブを中止するには

メニュー／取消ボタン（）を押します。

- プログラムしなかった曲は、プログラムした曲のうしろに並びます。
- 同じ曲を2回以上プログラムしているときはうしろにプログラムした方を優先して並べかえます。

（オールイレースのときのみ）

曲を消す（イレース）

1 曲または全曲を消します。

〈1 曲を消す（トラックイレース)〉

(例）6 曲目を消す場合

1 停止中にマルチジョグで 6 曲目を選ぶ。あるいは 6 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン(▷II)を押し、一時停止状態にする

2 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

3 マルチジョグを回して“ ERASE ”を選ぶ

ERASE

4 マルチジョグを押す

ERASE
6?

消して良いかを確認する表示です。

5 マルチジョグを押す

“ EDIT OK ” の表示が出て 6 曲目が消えます。

イレースを中止するには

メニュー／取消ボタン（MENU/NO）を押します。

〈全曲を消す（オールイレース)〉

1 停止ボタン(□)を押してタイム表示かディスクネーム表示にする

2 メニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押す

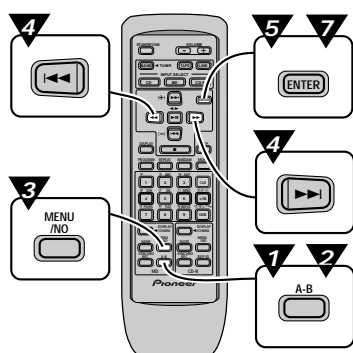
3 マルチジョグを回して“ ALL ERASE ”を選ぶ

ALL
ERASE

4 マルチジョグを押す

ALL
ERASE?

消して良いかを確認する表示です。

5 マルチジョグを押す

“ EDIT OK ” の表示が出て全曲が消えます。

オールイレースを中止するには

メニュー／取消ボタン（MENU/NO）を押します。

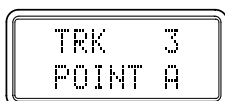
- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート演奏やランダム演奏は解除されます。

準備 基本操作 MD編集 応用操作 その他

曲の途中から途中までを消す（A-B イレース）

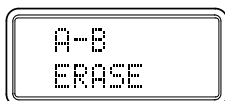
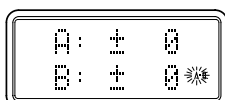
（例）3 曲目の途中から消す場合

1 3 曲目を再生して、消したい場所の始まりにきたら、A-B ボタンを押す

```
TRK    3
POINT  A
```

2 消したい場所の終わりにきたら、A-B ボタンを押す

```
TRK    4
POINT  B
```

3 MENU/NO ボタンを押す

4 |◀◀ ボタンあるいは ▶▶| ボタンで A-B イレースを選ぶ

```
A-B
ERASE
```

5 ENTER ボタンを押す

```
A: ±  0
B: ±  0
```

A-B間をはぶいて、前後の音をつないだ音声のリハーサルを行います。Aパート再生中はA が、B パート再生中は B が点滅します。

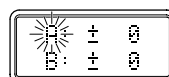
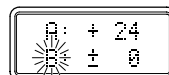
6 A および B の位置を微調整する

「A-B 位置を微調整するには」の操作①〜④を行います。

A-B の位置を微調整するには

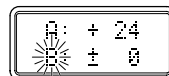
- A-B の位置を指定したあとのリハーサル中に、行います。
- ＋にすると曲の後ろのほうへポイントが移動し、−にすると曲の前のほうにポイントが移動します。
- 調整するたびに、リハーサルを最初から行います。

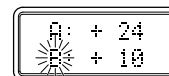
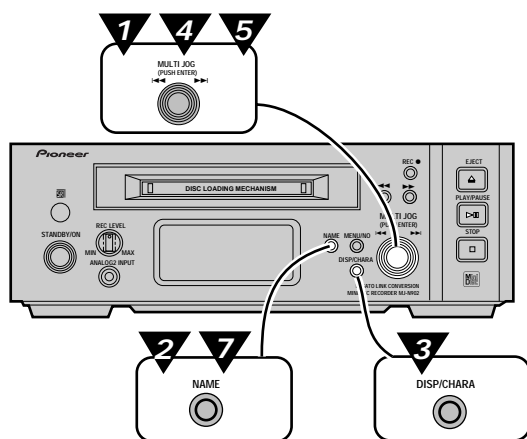
① A-B ボタンを押して、A を点滅させる。

```
A: ±  0
B: ±  0
```

② |◀◀ボタン、あるいは ▶▶|ボタンで、A の位置を微調整します。

```
A: + 24
B: ±  0
```

③ A-B ボタンを押して、B を点滅させる。

```
A: + 24
B: ±  0
```

④ |◀◀ボタン、あるいは ▶▶|ボタンで、B の位置を微調整します。

```
A: + 24
B: + 10
```

7 リハーサルの音を聞いて希望どおりに消えていたら、ENTER ボタンを押す

“EDIT OK” の表示が出て A-B 間が消えます。

A-B イレースを中止するには

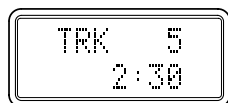
メニュー／取消ボタン（MENU/NO）を押します。

- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート演奏やランダム演奏は解除されます。

曲やディスクに名前をつける（ネーム）

１枚の MD には１つのディスク名と、最大 255 曲の曲名をつけることができます。

使用できる文字は

- アルファベット(大文字)
- アルファベット(小文字)
- 数字、記号
- カタカナ

です。(P.60 をご覧ください。)

〈曲に名前をつける（トラックネーム)〉

つけた曲名は、曲を選んだときや再生中に表示されます。

（例）5 曲目に“ JAZZ ”とつける場合

1 停止中にマルチジョグで 5 曲目を選ぶ、あるいは 5 曲目を再生する

TRK 5
2:30

2 ネームボタン(NAME)を押す

TRACK
NAME

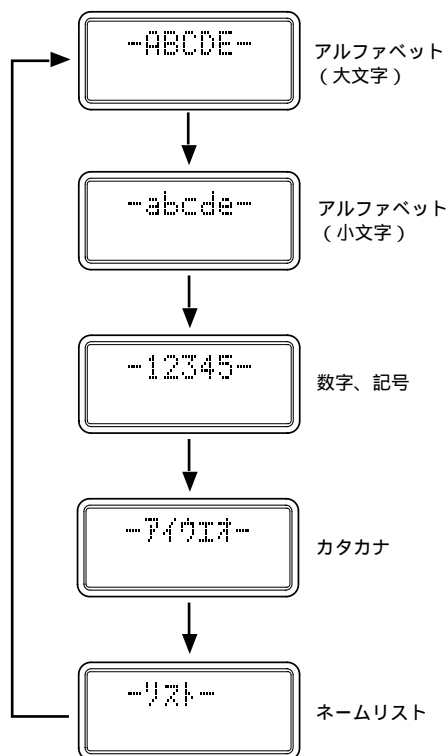
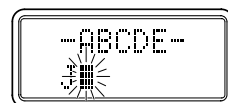
3 表示切換 / キャラクターボタン(DISP/CHARA)を押して文字の種類を選ぶ

-ABCDE- アルファベット（大文字）

-abcde- アルファベット（小文字）

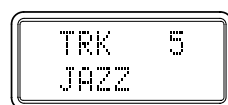
-12345- 数字、記号

-ｱｲｳｴｵ- カタカナ

-ﾘｽﾄ- ネームリスト

4 マルチジョグを回して 1 文字目に“ J ”を選ぶ

-ABCDE-
J

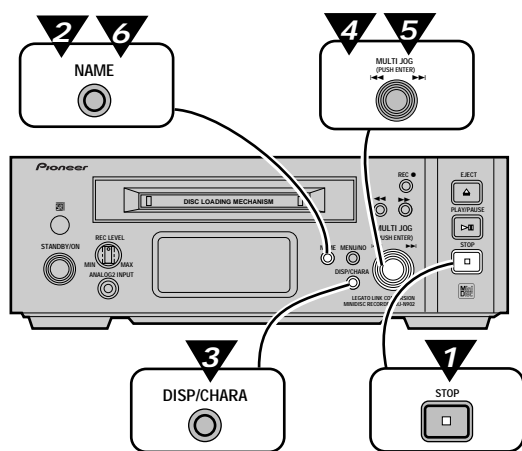
5 マルチジョグを押す

-ABCDE-
J

6 3 ～ 5 を繰り返して文字を入れる

例の場合は文字の種類が同じなので 4 ～ 5 を繰り返します。

7 ネームボタン(NAME)を押す

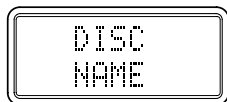
選んだ曲(5 曲目)に "JAZZ" という名前が付きます。

TRK 5
JAZZ

〈ディスクに名前をつける（ディスクネーム）〉

つけた名前は MD を入れたときなどに表示されます。

1 停止ボタン(□)を押す

2 ネームボタン(NAME)を押す

DISC
NAME

以降は、曲に名前をつける場合の手順3以降と同じように操作して名前を付けてください。(P.53)

① 表示切換/キャラクターボタンで文字の種類を選ぶ。
② マルチジョグを回して文字を選ぶ。
③ マルチジョグを押す。
④ ① ～ ③ を繰り返す。
⑤ ネームボタンを押す。

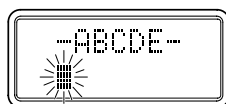
ネーム操作を中止するには

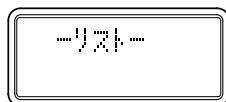
停止ボタン（□）を押します。

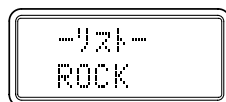
- 本機で入力したカタカナ文字は、他の機器では正しく表示されないことがあります。
  また、他の機器で入力したカタカナは本機で正しく表示されないことがあります。

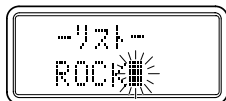
- 再生中、または録音中に曲名入力をしていて、入力が完了するまでに次の曲になったときは、途中までしか曲名入力されません。この場合、最初の手順に戻ってつづきを入れてください。

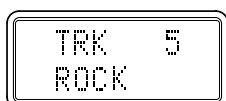
- 1 つの名前は 100 文字までです。
- 1 枚の MD に入れられる総文字数は 1,700 文字ですが、カタカナを使うと入れられる総文字数は減ります。文字数を超えると "NAME FULL" と表示します。

〈曲またはディスクにあらかじめ用意された名前をつける（簡単ネームリスト P.59 P.60 ）〉

つけた名前は、曲を選んだときや再生中、MDを入れたときなどに表示されます。

（例）ネームリストに用意されている " ROCK " とつける場合

1 つける名前を選ぶ

- 曲名のとき
  名前をつけたい曲を選ぶ、または再生する。
- ディスク名のとき
  停止ボタン（□）を押す。

2 ネームボタン(NAME)を押す

3 表示切換 / キャラクターボタン(DISP/CHARA)を押して " リスト " を選ぶ

4 マルチジョグを回して " ROCK " を選ぶ

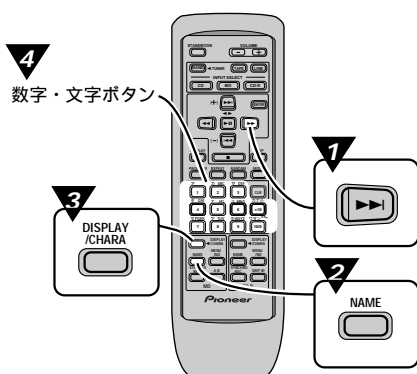
-リスト-
ROCK

最初に呼び出される名前は、前回入力したリストの名前です。

5 マルチジョグを押す

-リスト-
ROCK

入力した名前が付きます。

6 ネームボタン(NAME)を押す

TRK 5
ROCK

選んだ曲、またはディスクに "ROCK" という名前が付きます。

ネーム操作を中止するには

停止ボタン（□）を押します。

- ネームリストの名前を好きな位置に追加するには、◀◀ ボタン、▶▶ ボタンで追加したい位置を点滅させます。
- 続けて名前を入力する場合は、「曲に名前を付ける」の 3 ～ 5 と同じように操作してください。

リモコンで曲やディスクに名前をつける

（例）3 曲目に“ RAP ”とつける場合

1 停止中に ►►| で 3 曲目を選ぶ、または 3 曲目を再生する

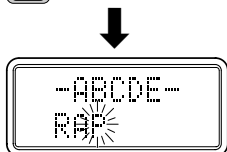
2 ネームボタン(NAME)を押す

3 表示切換／キャラクター(DISP/CHARA)を押して、文字の種類をアルファベット（大文字）にする

4 文字を入力する

7 を 3 回押して“ R ”を入力する。

►► と 2 を押して“ A ”を入力する。

►► と 7 を押して“ P ”を入力する。

入力をまちがえたときはメニュー／取消ボタン(MENU/NO)を押します。

5 ネームボタン(NAME)を押す

- ディスクに名前を付ける場合は、 の操作の代わりに停止ボタン(■)を押します。
- リモコンでネームリストの名前を選ぶには、|◄◄ ボタン、または ►►| ボタンで操作します。

ネームリストを選んでいるときは、数字・文字ボタンの操作はできません。

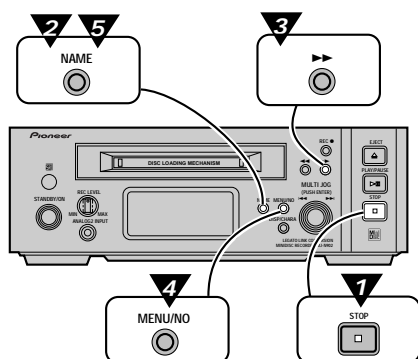
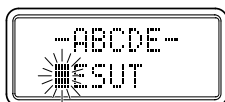
文字の入力文字割り当て表

リモコンのボタン	アルファベットの大文字 (アルファベットの小文字)*	数字・記号	カタカナ
1		1	ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ
2	A B C	2	ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ
3	D E F	3	ｻ ｼ ｽ ｾ ｿ
4	G H I	4	ﾀ ﾁ ﾂ ﾃ ﾄ
5	J K L	5	ﾅ ﾆ ﾇ ﾈ ﾉ
6	M N O	6	ﾊ ﾋ ﾌ ﾍ ﾎ
7	P Q R S	7	ﾏ ﾐ ﾑ ﾒ ﾓ
8	T U V	8	ﾔ ﾕ ﾖ
9	W X Y Z	9	ﾗ ﾘ ﾙ ﾚ ﾛ
10/0	□（空白）. , ' /	0 記号 **	ﾜ ｦ ﾝ ﾞ ﾟ -
>10			□（空白）サイズの小さなカタカナ ***

*アルファベットの小文字を選択したときは、各ボタンの入力できる文字が、大文字から小文字にかわります。
** 記号
□（空白）!"#＄%&'()＊+,ー. /:;<=>?@_`
*** サイズの小さなカタカナ
ｧ ｨ ｩ ｪ ｫ ｬ ｭ ｮ ｯ

入力のしかた

リモコンのボタンを押すごとに、入力できる文字が表の順番に切り換わります。
例えば、文字の種類にカタカナを選択しているときに 2 を押したときは、下記のように切り換わります。

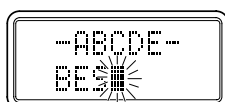
→カ → キ → ク → ケ → コ┐
└────────────┘

文字を消す

消したい文字を点滅させて、文字消去ボタンで消します。
(例)"BESUT" を "BEST" に修正する場合

1 修正する名前を選ぶ

- 曲名のとき:
  修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名のとき:
  停止ボタン(□)を押す。

2 ネームボタン（NAME)を押す

-ABCDE-
BESUT

3 ►► ボタンを 3 回押して "U" を点滅させる

-ABCDE-
BESUT

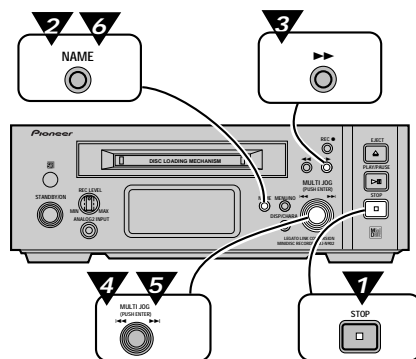
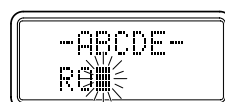
4 メニュー／取消ボタン（MENU/NO)を押す

-ABCDE-
BES

5 ネームボタンを押す

消去が終了します。

ネーム操作を中止するには

停止ボタン（□）を押します。

文字を追加する

追加したい位置のうしろの文字を点滅させて追加します。
(例)"ROK" を "ROCK" に修正する場合

1 修正する名前を選ぶ

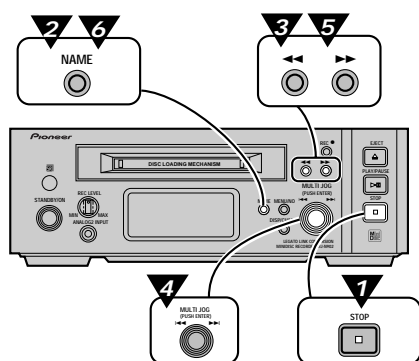
- 曲名のとき:
  修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名のとき:
  停止ボタン(□)を押す。

2 ネームボタン（NAME)を押す

3 ►► ボタンを 2 回押して追加する位置のうしろの文字 "K" を点滅させる

-ABCDE-
ROK

4 マルチジョグをまわして "C" を選ぶ

-ABCDE-
ROC

5 マルチジョグを押す

6 ネームボタン（NAME)を押す

追加が終了します。

ネーム操作を中止するには

停止ボタン（□）を押します。

文字を変更する

1 修正する名前を選ぶ

- 曲名のとき:
  修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名のとき:
  停止ボタン(□)を押す。

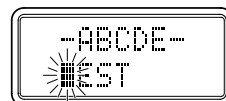
2 ネームボタン（NAME)を押す

3 ◀◀ ボタン、または ▶▶ ボタンで変更したい文字を点滅させる

4 マルチジョグを回して、入力したい文字を選ぶ

5 ▶▶ ボタンを押す

6 ネームボタン（NAME)を押す

ネーム操作を中止するには

停止ボタン（□）を押します。

曲名、ディスク名を消す

1 修正する名前を選ぶ

- 曲名のとき:
  修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名のとき:
  停止ボタン(□)を押す。

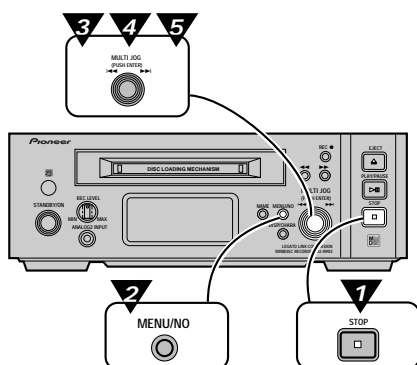
2 ネームボタン（NAME)を押す

-ABCDE-
TEST

3 メニュー／取消ボタン（MENU/NO)を押す

メニュー／取消ボタン（Menu/No)を押すたびに、文字が消えます。

ネーム操作を中止するには

停止ボタン（□）を押します。

編集をキャンセルして編集前の状態に戻す（アンドゥ：UNDO）

編集を行った後で、1つ前の編集をキャンセルすることができます。

アンドゥでキャンセルできる編集の種類

- ムーブ
- プログラムムーブ
- デバイド
- コンバイン
- A-B コンバイン
- トラックイレース
- A-B イレース
- オールイレース
- ネームの入力、変更、消去
  (停止中に操作したネームのみ)

アンドゥでキャンセルできなくなる条件

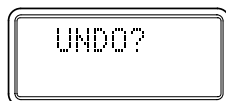
次の操作を行うと1つ前の編集のキャンセルはできなくなります。

このとき、"Can't(キャント) UNDO(アンドゥ)" と表示されます。

- MD 取出しを行ったとき(UTOC の書き換えを実行)
- 電源を切ったとき(UTOC の書き換えを実行)
- 停電したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき
- オーバーライト録音開始前の録音一時停止中に停止ボタン（□）を押したとき

1 停止ボタン(□)を押す

2 メニュー／取消ボタン（MENU/NO)を押す

ALL
ERASE

3 マルチジョグを回して "UNDO" を選ぶ

UNDO

4 マルチジョグを押す

UNDO?

アンドゥして良いかを確認する表示です。

5 マルチジョグを押す

"**EDIT OK**" と表示が出て、編集をキャンセルします。

アンドゥを中止するには

メニュー／取消ボタン（MENU/NO）を押します。

ネームリスト一覧

ネームリストを選んだときの表示は下記のようになります。

固定表示（7文字分）を1秒間
↓
8文字以上のネームならスクロールする
↓
スクロール終了なら固定表示（7文字分）をする

ネームリスト一覧（アルファベット順）

A
Air Check
American

B
Bass
Best of
Big Band
Blues
British

C
Chart
Children's
Chorus
Classical
Copy

D
Dance
Disco
Drums

E
Electronic
European

F
Favorite
Festival
Flute
Folk
Freestyle
Funk

G
German
Guitar

H
Hard Rock
Harmonica
Hip Hop
Hit Songs
House

I
Important
Industrial

J
J−pop
Japanese
Jazz

K
Keyboard

M
Master
Metal
Modern
Music

N
New Age
New Wave
No.
Noise

O
Oldies

P

Piano
Pop
Private
Punk

R

Rap
Rave
Recorder
Reggae
Remix
Rock

S

Session
Single
Soft Rock
Solo
Soul
Special
Studio
Super
Swing

T

Techno
Top
Trip Hop

U

Urban

Y

Version
Very
Violin
Vocal

W

World Music

カタカナ

アコースティック
アナログ
アルバム
アーティスト
インストゥルメンタル
エアーチェック
オキニイリ
オムニバス
オリジナル
オーケストラ
カラオケ
クラブ
コレクション
コンサート
サウンドトラック
シークレット
ダイスキ
デジタル
トラディショナル
バンド
フュージョン
ヘンシュウ
ベストヒット
ミュージック
ライブ
リズム＆ブルース
ワタシノ

MDのネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , ' / ␣
アルファベット（小文字）	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , ' / ␣
数字・記号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ _ ` ␣
カタカナ	ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ ｻ ｼ ｽ ｾ ｿ ﾀ ﾁ ﾂ ﾃ ﾄ ﾅ ﾆ ﾇ ﾈ ﾉ ﾊ ﾋ ﾌ ﾍ ﾎ ﾏ ﾐ ﾑ ﾒ ﾓ ﾔ ﾕ ﾖ ﾗ ﾘ ﾙ ﾚ ﾛ ﾜ ｦ ﾝ ｧ ｨ ｩ ｪ ｫ ｬ ｭ ｮ ｯ ﾞ（濁点） ﾟ（半濁点） ｰ（長音） ␣（空白スペース）

自動編集録音（A.S.E.S.）のしかた

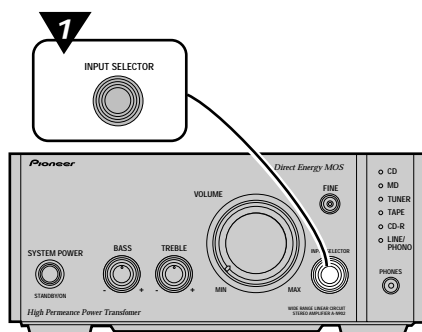
A.S.E.S.とは、Auto Synchro Editing Systemのことです。CDをMD、CD-R、テープへ、MDをテープ、CD-Rへ、テープをMD、CD-Rへ自動編集録音する機能です。本機では再生順、またはプログラム再生順に録音します。テープへの録音時に、曲の途中でA面の録音が終わったときは、その曲はB面のはじめから録音されます。

- 誤消去防止ツメの折ってあるカセットテープを入れた場合は、A.S.E.S.はできません。
- 再生専用のMDに録音しようとした場合、または録再用MDであっても誤消去防止つまみが開いているMDに録音しようとしてもA.S.E.S.はできません。
- ファイナライズされたCD-RおよびCD-RWにはA.S.E.S.はできません。

- A.S.E.S.動作時、テープの終わり近くで次の曲に移ったり、CDが演奏を終えると、動作が中断したり、正しく動作しない場合があります。このときは、その曲以降をA.S.E.S.を使わないで録音してください。
- 録音前にMD、CD-R/CD-RW、TAPEの残り時間が録音可能であるかどうかを確認してください。

A.S.E.S.を行うときは、CD、MD、CD-R、カセットデッキを下表のように設定してください

録音のしかた	アンプの入力切換位置	CDチューナー (PD-N902)	MDレコーダー (MJ-N902)	CDレコーダー (PDR-N902)	カセットデッキ (T-N902)
CD→MD	CD	ディスクを入れる	録音用MDを入れる		
CD→TAPE	CD	ディスクを入れる			録音用テープを入れる
CD→CD-R	CD	ディスクを入れる		録音用CD-R/CD-RW ディスクを入れる	
CD→MD+TAPE	CD	ディスクを入れる	録音用MDを入れる		録音用テープを入れる
CD→MD+CD-R	CD	ディスクを入れる	録音用MDを入れる	録音用CD-R/CD-RW ディスクを入れる	
MD→TAPE	MD		再生用MDを入れる		録音用テープを入れる
MD→CD-R	MD		再生用MDを入れる	録音用CD-R/CD-RW ディスクを入れる	
TAPE→MD	TAPE		録音用MDを入れる		再生用テープを入れる
TAPE→CD-R	TAPE			録音用CD-R/CD-RW ディスクを入れる	再生用テープを入れる
TAPE→MD+CD-R	TAPE		録音用MDを入れる	録音用CD-R/CD-RW ディスクを入れる	再生用テープを入れる

自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた

操作のしかた

1 アンプで演奏する機器を選ぶ

61ページの表を参照してください。

2 録音する機器を設定する

MDに録音するとき

（CD、TAPEからの録音）
① 録音可能なMDを入れる。
② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する（P.43）。
③ CDを録音する場合にはデジタル録音かアナログ録音かを選択する（P.38）。
CDをMDとTAPEに同時に録音するパラレルA.S.E.S.では、強制的にデジタル1に切り換わります。
TAPEを録音するときはアナログが自動的に選ばれます。
④ アナログ録音のときは、オートマークを行うか、行わないかを選択する（P.44）。
⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する（P.39）。

CD-Rに録音するとき

（CD、MD、TAPEからの録音）
① 録音可能なCD-RまたはCD-RWディスクを入れる。
（別冊PDR-N902 P.16）
② CDまたはMDを録音する場合にはデジタル録音かアナログ録音かを選択する。
（別冊PDR-N902 P.18）
TAPEを録音するときはアナログが自動的に選ばれます。
③ 録音レベルを調整する。
（別冊PDR-N902 P.24 P.25）

テープに録音するとき

（CD、MDからの録音）
① 録音可能なテープを入れる。
② ドルビーNRを選択する。
③ リバースモードを選択する。
アセスではフォワード方向(►)から録音をはじめます。
④ 録音レベルを調整します。

3 演奏する機器を設定する

CDを録音するとき

① CDを入れる。
② 停止ボタン(□)を押して停止する。
③ 1曲のみアセスする場合は、マルチジョグで録音する曲を選ぶ。

プログラム演奏でアセスするときはあらかじめプログラムしておきます。

MDを録音するとき

① MDを入れる。
② 停止ボタン(□)を押して停止する。
③ 1曲のみアセスする場合は、マルチジョグで録音する曲を選ぶ。

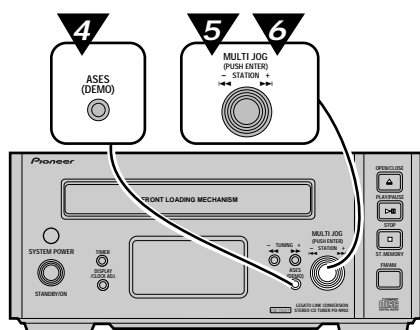
プログラム演奏でアセスするときはあらかじめプログラムしておきます。

テープを録音するとき

再生をはじめる位置を探して停止させる。

- アセス中はアンプの入力は切り換えられません。
- デジタルコピー済のCD-RをMDへデジタルアセスすることはできません。
- デジタルコピー済のMDをCD-Rへデジタルアセスすることはできません。
- アセス中には、再生、録音機器のディスクやテープは取り出すことはできません。
- アセスを開始すると、再生側のリピートを解除します。
- CD-RファンクションのA.S.E.Sはできません。全てCDチューナーのCDファンクションで行ってください。

4 アセスボタンを押す

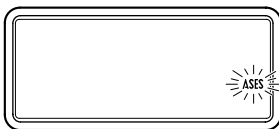
CD→MD

演奏側と録音側の機器を表示します。
図はCDからMDへのアセスです。

5 CDを録音する場合は、マルチジョグを回して録音する機器を選ぶ

CDを録音するときに、全ての機器が接続されていれば、MD、TAPE、CD-R、MD+TAPE、MD+CD-Rを選ぶことができます。

CD→TAPE

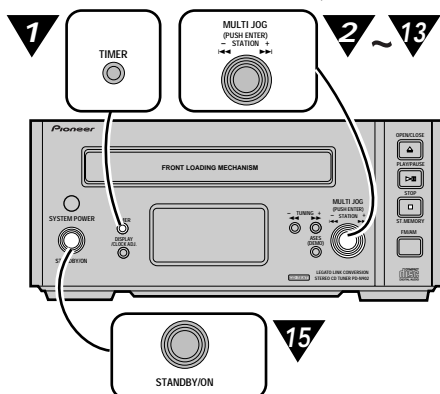
6 マルチジョグを押す

アセスをはじめます。

アセスでの録音を中止したいとき

演奏側、録音側いずれかの停止ボタン(□)を押します。
パラレルアセスの場合は、演奏側の停止ボタン(□)を押します。

アセスの設定を中止したいとき

アセスボタンを押します。

ASES ERRORの表示が出たときは

再生側、録音側の機器がアセス可能な状態でないときに"ASES ERROR"という表示をします。
以下の項目を調べてみてください。

① CD、MD、CD-R、テープは入っていますか？

② 誤消去防止ツメの折れたテープを録音用に使っていませんか？
⇨ 別のテープを使うか、誤消去防止ツメを折った穴をテープでふさいでください。

③ 誤消去防止状態(誤消去防止つまみが開いている)のMDを録音用に使っていませんか？
⇨ 別のMDを使うか、つまみを閉じてください。

④ ファイナライズされたCD-R/CD-RWディスクを録音用に使っていませんか？
⇨ ファイナライズされていない状態のCD-R/CD-RWディスク使う。

⑤ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクをA.S.E.Sの再生用に使っていませんか？
⇨ ファイナライズされていない状態のCD-R/CD-RWディスクはA.S.E.Sの再生用として使用できないので、ファイナライズを行ってください。

⑥ 再生用MDを録音用に使っていませんか？
⇨ 録音用MDを使う。

⑦ 演奏、録音する機器は停止状態になっていますか？
⇨ 停止ボタンを押して停止させてください。

⑧ ファンクションがCD-Rになっていませんか？
⇨ 録音したいディスクをCDチューナー側に入れてA.S.E.Sしてください。

タイマーの使いかた

時計を合わせていないとタイマーが使えません。
必ず時計合わせをしてください。 P.22

好きな音楽で目覚める（ウェイクアップタイマー）

ウェイクアップタイマーは毎日動作します。タイマー設定時の演奏機器を記憶し、その内容で演奏をはじめます。

“ まずはじめに ”

アンプの入力を再生したい演奏機器にして準備をする。

CD	：	ディスクをセットしておきます。
チューナー	：	聞きたい放送局に合わせてください。 タイマー設定時の放送局が記憶されます。
テープ	：	カセットテープをセットしておきます。 前に再生していた方向からはじまります。
MD	：	MD をセットしておきます。
CD-R	：	CD-R ディスクをセットしておきます。
外部入力	：	接続している外部機器を、タイマー開始時に演奏するように設定しておきます。

（例） 午前 7 時 30 分にタイマーオンし、午前 9 時 15 分にタイマーオフするように設定する場合。

1 タイマーボタンを押す

2 マルチジョグを回して “ WAKE-UP ” にする

WAKE-UP

3 マルチジョグを押す

4 マルチジョグを回して “ TIMER EDIT ” にする

TIMER
EDIT

5 マルチジョグを押す

WAKE-UP
ON 0:00

6 マルチジョグを回して “ 7 時 ” にする

WAKE-UP
ON 7:00

7 マルチジョグを押す

WAKE-UP
ON 7:00

8 マルチジョグを回して “ 7 時 30 分 ” にする

WAKE-UP
ON 7:30

9 マルチジョグを押す

WAKE-UP
OFF 8:30

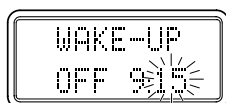
10 マルチジョグを回して “ 9 時 ” にする

WAKE-UP
OFF 9:30

11 マルチジョグを押す

WAKE-UP
OFF 9:30

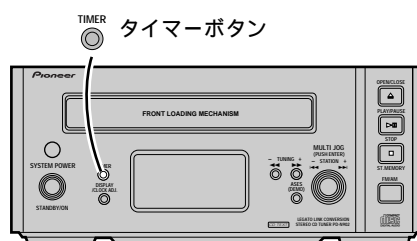
12 マルチジョグを回して“ 9 時 15 分 ”にする

WAKE-UP
OFF 9:15

13 マルチジョグを押す

チェックモードになります。
開始時刻、終了時刻、演奏機器を表示します。
Ⓛが点灯します。

14 アンプで音量を調整する

15 アンプ、CD チューナー、またはリモコンの STANDBY/ON ボタンで電源を切る

- 電源オフ(スタンバイ)中に**時計合わせ / 表示切換ボタン (DISPLAY/CLOCK ADJ.)**を押したときのみ、約5秒間、時刻とⓁを表示します。(電源オフ(スタンバイ)中の消費電力を抑えるため)
- 電源オフ(スタンバイ)中にTIMERボタンを押すと、タイマーの設定時間をチェック表示します。

< タイマー動作をしないようにするには >

前ページの 1 ～ 3 を行い、4 で“ TIMER OFF ”を選び、マルチジョグを押します。

タイマー演奏が始まってから TIMER OFF にしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >

前ページの 1 ～ 3 を行い、4 で“ TIMER ON ”を選び、マルチジョグを押します。

< タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

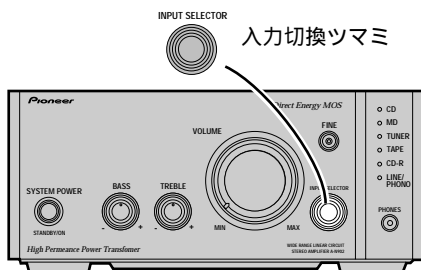
< タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >

タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。

ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎日、同時刻に実行されます。

- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

ラジオ放送または外部入力を留守録音する（タイマー録音）

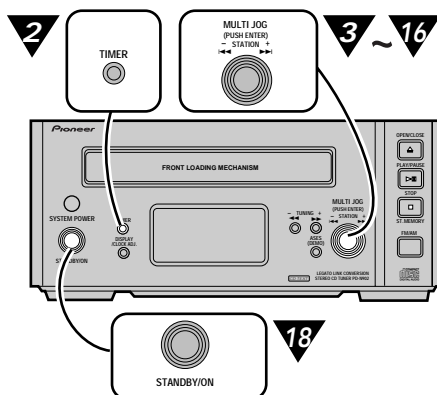
録音タイマーは設定した 1 回だけ動作します。

“ まずはじめに ”

アンプの入力を録音したい演奏機器にして準備をする。

チューナー　：録音したい放送局に合わせてください。タイマー設定時の放送局が記憶されます。

外部入力　：タイマー録音開始時刻前に外部機器が演奏されるように準備します。

（例）午後 8 時 30 分から午後 9 時 15 分までラジオ放送を MD に録音する場合

1 録音する機器を設定する

MD に録音するとき

① 録音可能な MD を入れる。
② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する（P.43）。
③ 外部入力を録音するときは、デジタル録音かアナログ録音かを選択する（P.38）。ラジオ放送の録音はアナログ録音となります。
④ 外部入力を録音するときは、オートマークを行うか行わないかを選択する（P.44）。
⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する（P.39）。

CD-R に録音するとき

① 録音可能な CD-R または CD-RW ディスクを入れる。（別冊 PDR-N902 P.16）
② 外部入力を録音するときは、デジタル録音かアナログ録音かを選択する（別冊 PDR-N902 P.18 P.23）。ラジオ放送の録音はアナログ録音となります。
③ 録音レベルを調整する。（別冊 PDR-N902 P.24 P.25）

テープに録音するとき

① 録音可能なテープを入れる。
② ドルビー NR を選択する。
④ 録音レベルを調整する。
③ リバースモードを選択する。
　前に再生していた方向からはじまります。

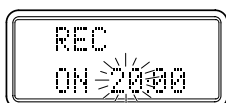
2 タイマーボタンを押す

WAKE-UP

3 マルチジョグを回して “ REC ” を選ぶ

REC

4 マルチジョグを押す

5 マルチジョグを回して “ TIMER EDIT ” にする

TIMER
EDIT

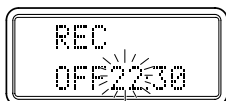
6 マルチジョグを押す

REC
ON 0:00

7 マルチジョグを回して"20時"にする

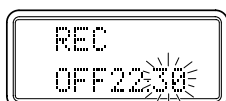
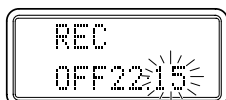
REC
ON 20:00

8 マルチジョグを押す

REC
ON 20:00

9 マルチジョグを回して"20時30分"にする

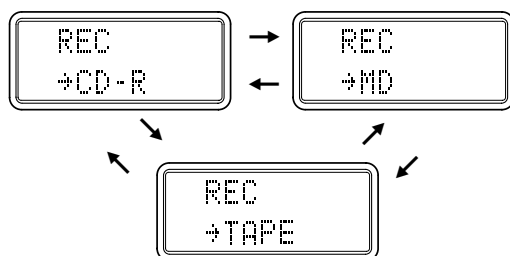
REC
ON 20:30

10 マルチジョグを押す

REC
OFF21:30

11 マルチジョグを回して"22時"にする

REC
OFF22:30

12 マルチジョグを押す

REC
OFF22:30

13 マルチジョグを回して"22時15分"にする

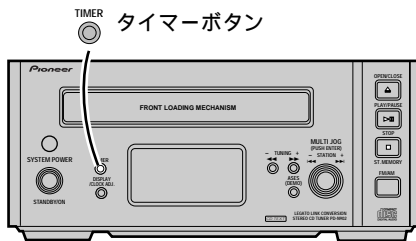
REC
OFF22:15

14 マルチジョグを押す

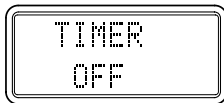
15 マルチジョグを回して録音機器を選ぶ

CD-Rに録音するときは"CD-R"を、MDに録音するときは"MD"を、テープに録音するときは"TAPE"を選びます。各機器が接続されていない時は各表示はでません。

16 マルチジョグを押す

チェックモードになります。
開始時刻、終了時刻、入力切換（放送のときは受信放送局）、録音機器を表示します。
⏱REC が点灯します。

17 アンプで音量を最小にする

18 アンプ、CDチューナー、またはリモコンのSTANDBY/ONボタンで電源を切る

● 電源オフ(スタンバイ)中にTIMERボタンを押すと、タイマーの設定時間をチェック表示します。

タイマーの使いかた

< タイマー動作をしないようにするには >

66ページの2～4を行い、5で“ TIMER OFF ”を選び、マルチジョグを押します。

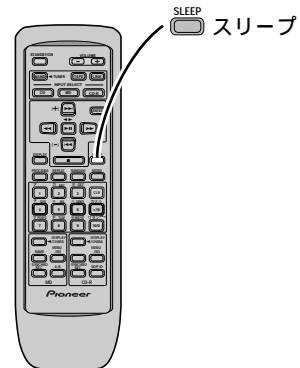
タイマー録音が始まってからTIMER OFFにしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >

66ページの2～4を行い、5で“ TIMER ON ”を選び、マルチジョグを押します。

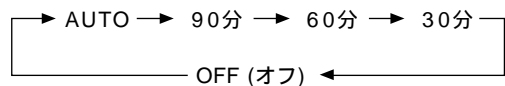
< タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

< タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >

タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。

- タイマー録音時は音量は最小にしてください。
- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

音楽を聞きながら眠る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

スリープボタン(SLEEP)を押す。

AUTO（オートスリープ）：
CD、CD-R、MD、テープの再生中またはMD、CD-R、テープの録音中に選べます。再生または録音が終ると約1分後に電源が切れます。

- CDあるいはMDのリピート演奏中、およびテープの両面繰り返し中はオートスリープは選べません。
- タイマー動作（ウェイクアップ／録音）中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

- スリープタイマー中に**スリープボタン(SLEEP)**を押すと、残り時間を表示します。

< スリープタイマーを中止したいときは >

- 電源をオフにする
- **スリープボタン(SLEEP)**を押してスリープオフを選ぶ。

- タイマー録音と、ウェイクアップタイマー、スリープタイマーを併用して設定するときは、タイマー録音がはじまる3分以上前に、ウェイクアップタイマー、スリープタイマーが終了するように設定してください。このように設定しないと、タイマー録音が動作しない場合があります。

日ごろのお手入れ

CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証とアフターサービス

■保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から１年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

７０～７１ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

● 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

連絡していただきたい内容

・ご住所
・お名前
・電話番号
・製品名：コンパクトミニコンポーネント
・型番：X-NT99MD,X-NT77MD,X-NT99R
　　　X-NT77R,APX-N902,APX-N702,
・お買い上げ日
・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
・訪問のご希望日
・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お願い

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

故障？ちょっと調べてください

● 故障かな…？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症　状	原因と思われること	処　置
全てに共通	音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切換が正しく選択されていない。 ● デモモードになっている。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。 ● デモモードを解除する。（裏表紙）
	正しく動作しない。 再生音にノイズが聞こえる。	● 電源プラグを差したままシステム接続コードを抜き差しした。 ● システム接続コードが正しく接続されていない。 ● ピンプラグ付接続コードが正しく接続されていない。 ● 携帯電話などを近づけている。	● 電源プラグを一度抜いて、差し直す。 ● システム接続コードを正しく接続する。 ● ピンプラグ付接続コードを正しく接続する。 ● 携帯電話などを離す。
CD関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	● ディスクの裏表を逆にセットしている。 ● ディスクに汚れやくもりなどがある。 ● ディスクに大きなキズやソリなどがある。	● ディスクのレーベル面（印刷のある面）を上側にし、正しくセットする。 ● ディスクをクリーニングする。 ● ディスクを交換する。
	E-1 と表示部に出た。	● CD メカに異常がある。	● トレイを開けてから、もう一度再生させる。 ● 電源コードを入れ直す。
	E-2 と表示部に出た。	● CD ディスクトレイに異常がある。	● ディスクトレイ上に異物が無いか確認してください。 ● Open/Close ボタンを押す。
放送関係	放送が聞こえない、聞きづらい。	● アンテナが接続されていない。 ● アンテナの向き、位置が悪い。 ● 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用している。 ● ステップ周波数が合っていない。	● アンテナを正しく接続する。 ● アンテナの向きや位置を調整する。 ● 雑音を発生させる機器の使用をやめるか、アンテナを離す。 ● ステップ周波数を合わせる。 P.26
	FM放送がステレオなのにステレオにならない。	● 表示部のモノインジケーターが点灯している。	● モノボタンを押してモノインジケーターを消灯する。 P.25

故障？ちょっと調べてください

	症　状	原因と思われること	処　置
MD関係	録音ができない。	● MD が誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用 MD を入れている。 ● TOCがいっぱいになっている。(録音、編集を繰り返すと、このようになることがあるます。)	● 誤消去防止つまみを閉じる。 ● MD を入れかえる。 ● 全曲消去を行えば新たに録音できます。
	モノラルで録音されてしまう。	● モノラル長時間モードになっている。	● 録音モードをステレオモードにする P.43
	MDを入れても“ NO　DISC ”と表示される。	● ディスクにキズが付いている。	● MD を入れかえる。
	音がとぎれる。	● MD レコーダーが結露している。	● 1 時間程待ってから再生する。
	短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。	● 故障ではありません。
	録音時間と残り時間を合わせても最大録音可能時間にならない。	● 最小録音単位が 2 秒のため、これに満たない曲でも 2 秒のスペースを使っているので合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。	● 故障ではありません。 ● MD を入れかえる。
	コンバイン、A-Bコンバイン編集で曲と曲をつなげない。	● 録音、編集を繰り返したディスクでこのようになることがある。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲をつなごうとしている。	● 故障ではありません。 ● デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲ははつなげません。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲はつなげません。

＊ MD に関する表示については 36 ～ 37 ページにも説明がありますので、ご覧ください。

その他	タイマーが動作しない。	● 現在時刻の設定がされていない。	● 現在時刻を設定する。
	リモコンで操作できない。	● リモコンの電池がなくなっている。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	● 新しい電池に換える。 ● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。
	デッキ、CD チューナー、MD レコーダーの電源が入らない。	● システムケーブルの接続が不完全。	● 確実に接続する。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作する場合があります。これで解決しないときは、お近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。
- 携帯電話など、電波を利用した機器を本機の近くに設置または本機の近くで使用した場合、再生音にノイズが出るまたはノイズが録音されたりすることがあります。このようなときは携帯電話などの設置を 1m 以上離したり、本機から離れて使用することをおすすめします。

仕 様

● **仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。**

ステレオアンプ：A-N702、A-N902

アンプ部

実用最大出力（EIAJ）.......... 25W＋25W(4Ω)
定格出力
.... 18W＋18W(20Hz～20kHz、歪率1%、4Ω)
入力端子（感度／入力インピーダンス）
　PHONO （MM）.......... 2.8mV/47kΩ(A-N902のみ)
　CD、CD-R 400mV/25kΩ
　MD 320mV/23kΩ
　LINE、TUNER、TAPE 200mV/22kΩ
出力端子（レベル／出力インピーダンス）
　CD-R、TAPE、MD 200mV/2.2kΩ
システム接続端子 .... ×1
周波数特性
　PHONO (MM) .... 20Hz～20kHz±0.5dB (A-N902のみ)
　CD、CD-R、LINE、MD、TUNER .... 3Hz～150kHz $^{+0}_{-3}$dB
トーンコントロール
　BASS .... ±8dB(100Hz)
　TREBLE .... ±8dB(20kHz)
ラウドネスコンター（ファインモード）
.... ＋6dB(100Hz)、＋4dB(10kHz)　VOL at－20dB
SN比（IHF Aネットワーク、ショートサーキット）
　PHONO (MM) .... 86dB(at 2.8mV)
　CD、CD-R、LINE、MD、TUNER 100dB
スピーカー負荷インピーダンス .... 4～16Ω
電源電圧 .... AC100V、50/60Hz
消費電力（電気用品取締法）.......... 38W
ACアウトレット
.... 電源スイッチ非連動×1（最大150W）
外形寸法 .... 212(幅)×95(高さ)×307(奥行)mm
質量 3.5kg

システム接続した場合､各機器を合計してもスタンバイ時消費電力は0.4Wになるように設計されていますので、設置のしかた（5ページ）をご覧の上、正しく設置、接続を行ってください。

ステレオCDチューナー：PD-N902

CD部

型式 .... コンパクトディスクオーディオシステム
再生ディスク .... CD、CD-R、CD-RW
周波数特性 .... 4Hz～20kHz
SN比(EIAJ) .... 114dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ(EIAJ) 96dB
全高調波歪率(EIAJ) 0.003%以下
チャンネルセパレーション(EIAJ) 94dB以上
ワウフラッター .... 測定限界以下
アナログ出力端子 .... RCAピンジャック
　出力レベル／出力インピーダンス 1.9V/1kΩ
デジタル出力端子（光）.......... 2系統

FMチューナー部

受信周波数 .... 76.0～108MHz
実用感度（モノラル）.......... 1.5V/75Ω
SN比
　モノラル 73dB
　ステレオ 68dB
ステレオセパレーション
　1kHz 45dB
　100Hz～10kHz 33dB
出力端子 .... RCAピンジャック
　出力レベル／出力インピーダンス 0.7V/2.3kΩ
アンテナ 75Ω不平衡型

AMチューナー部

受信周波数 ..... 522kHz～1,629kHz（9kHzステップ）
530kHz～1,700kHz(10kHzステップ)
SN比 50dB
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

電源部・その他

電源電圧 .... AC100V、50/60Hz
消費電力（電気用品取締法）.......... 11W
ACアウトレット .... 連動（最大150W）×1
システム接続端子 .... ×2
外形寸法 .... 212(幅)×95(高さ)×287(奥行)mm
質量 2.6kg

ミニディスクレコーダー：MJ-N902

形式 .... ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz
再生周波数特性 .... 8 Hz 〜 20 kHz
再生 SN 比（EIAJ) .... 101 dB
ワウフラッター（EIAJ) .... 測定限界以下
録音入力端子 .... RCA ピンジャック
　基準入力レベル／入力インピーダンス
　.. 500mV/22kΩ
再生出力端子 .... RCA ピンジャック
　基準出力レベル / 出力インピーダンス
　.. 500mV/1kΩ
デジタル入力端子（光) .... × 2
デジタル出力端子（光) .... × 1
システム接続端子 .... × 1
アナログ 2 入力端子 .... ステレオミニジャック
　基本入力レベル／入力インピーダンス ....
　.. 500mV/22kΩ
電源電圧 .... AC100V、50/60Hz
消費電力(電気用品取締法) 13W
スタンバイ時消費電力 2.3W
外形寸法 .... 212（幅）×75（高さ）×282（奥行）mm
質量 2.3kg

スピーカーシステム：

S-N902-LR(S)

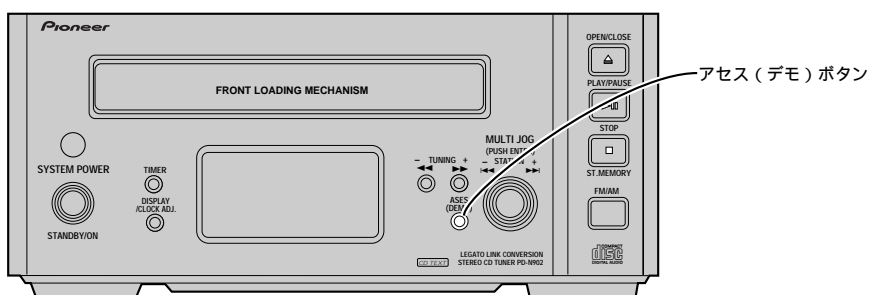
型式 ..... 16cm3wayブックシェルフ型、防磁設計（EIAJ）*
使用スピーカー
　低音用（ウーファー）....................... 16cm（コーン型）
　中音用（ミッドレンジ）.................. 3.5cm（ドーム型）
　高音用（トゥイーター）.................. 2.5cm（ドーム型）
公称インピーダンス 4Ω
再生周波数帯域 .... 35 〜 60,000Hz
最大入力 .... 100W（EIAJ）
外形寸法 .... 215（幅）×340（高さ）×308（奥行）mm
質量 7.9kg

S-N702-LR(S)

型式 ..... 13cm2wayブックシェルフ型、防磁設計（EIAJ）*
使用スピーカー
　低音用（ウーファー）....................... 13cm（コーン型）
　高音用（トゥイーター）.................. 2.5cm（ドーム型）
公称インピーダンス 4Ω
再生周波数帯域 .... 40 〜 60,000Hz
最大入力 .... 80W（EIAJ）
外形寸法 .... 170（幅）×265（高さ）×249（奥行）mm
質量 .... 3.8kg(1 台)

＊「防磁設計（EIAJ）」とは、（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

付属品

保証書 .... × 1
取扱説明書 .... × 1
安全上のご注意 .... × 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .... × 1
FM 簡易アンテナ .... × 1
AM ループアンテナ .... × 1
リモコン .... × 1
単 3 形乾電池（R6P) .... × 2
スピーカーコード（スピーカーに付属) .... × 2
光ファイバーケーブル
(X-NT99MD、X-NT77MD、X-NT99R、X-NT77R) ...... × 1
システム接続コード
(X-NT99MD、X-NT77MD、X-NT99R、X-NT77R) ...... × 2
(APX-N902、APX-N702) .... × 1
ピンプラグ付接続コード
(X-NT99MD、X-NT77MD、X-NT99R、X-NT77R) ...... × 4
(APX-N902、APX-N702) .... × 2
電源コード
(X-NT99MD、X-NT77MD、X-NT99R、X-NT77R) ...... × 3
(APX-N902、APX-N702) .... × 2

デモ表示について

- **初期状態では、電源コンセントを入れるとデモ表示になります。以後、自動的にデモ表示をしないようにするには、デモ表示中にASES(DEMO)ボタンを約３秒間押し続けてください。**
- 電源プラグをコンセントに接続したときにデモ表示に入らないようにするには、デモ表示中にASES(DEMO)ボタンを約3秒間押しつづけて電源をオフにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続するとデモ表示になり電源オンになります。電源オフのときにASES(DEMO)ボタンを約3秒間押しつづけても、デモ表示になり電源オンになります。
- デモ表示を解除するには、SYSTEM POWERボタンあるいはリモコンの電源オンに関するボタン(P.23)または、本機のASES(DEMO)ボタンを約3秒間押してください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し､電源プラグをコンセントから抜き､故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<00G00ZF0Q00>　<ARA7116-A>